京城日報

半島文化問題としての朝鮮（六）

內ケ崎作三郎

今日寺內總督以來日本が朝鮮に對して種々な失敗もあつたらうと思ふ。また現に理想の政治が行はれて居るとも思はないでもないが、兎に角日本を開いたものは米國であると同じやうに、朝鮮を開いたものは日本である。此は歷史上明かである。朝鮮は米國も開くことが出來なかつた。佛蘭西は宣教師が殺されたといふので軍艦を引張つて來て、却て敗けて逃げ歸つた位で、然るに日本と朝鮮は兎に角交渉の結果、朝鮮の國を開くことになつた。その事だけは歷史上の事實である。そこで最初に日本は支那のこの北部までの文化といふものは、朝鮮を通じて日本へ來た。唐以來の文明といふものは、直接入るやうになりましたけれども、兎に角その以前の文化といふものは大陸の文化は朝鮮の仲介で日本へ渡して來つたのであつてこりや長く日本は朝鮮の恩を記憶しなければならぬと思ふ。然るに日本はその恩返しをして朝鮮を開いた際で、開いたと同時に遂に併合したといふ結果になつたのであるから、無論今日の朝鮮人の中には不平の人も多い。獨立希望の人も少くない。ある程度までさういふ人のあるのは當然のことである。假に日本がさういふ立場に置かれたなれば矢張り極まつて居る。さういふ人々のあるのは怪しむに足らぬ當然のことである。さういふ氣持のある人々が朝鮮の中にある。朝鮮にさういふ青年諸君があるといふことは、朝鮮の文化の將來に大なる望みがあるといふことである。唯事實の問題としてこれを實行することが出來るか否やといふことが問題である。事實の問題になると容易にこれは實現することは出來ないものだと思ふ。

そこで我々日本人の立場として朝鮮に對して何をするかといへば出來得るだけのことを盡すより外はない。それから朝鮮人はどうするのか朝鮮の歷史的事實、地理的事情のことをよく考へて、朝鮮が今日のやうな運命になつたことを考へて見る。而して將來に於いては過去の缺點を除いて新なる長所を加へるといふ方面に努力を試みられて行くより外はないと思ふ。こりや甚だ平凡な說であるけれども、夫れより外に、私、朝鮮問題を解決する道はないと思ふ。

そこで我々が日本の政府に對する希望は、朝鮮に於いて文化政策を口にするばかりではない。朝鮮に於いて、大學でも、高等學校でも建てて欲しい、高等普通學校も增す、女子高等普通學校も增さなければならぬ。それから朝鮮青年の日本に留學したる者、或は米國に留學したるもの、若くはこれから設けられる、或は設けられたる高等なる學校を卒業したるものはドシ〳〵朝鮮の要路に任用しなければならない。そりや日本政府に使はれない、使はれたくないといふ人もあるかも知れないが、さういふ人もあつて差支へはない。我々は日本に生れながら日本の政府に使はれて居ないのだから、使はれたくないと頑張る人が少々あつても宜しい、なければ面白くないと思ふ。併しながら日本の政府が人材を拔擢するなれば應じても差支へないだらう。而して將來朝鮮の主なる役人は朝鮮人より任用する時代が來なければならぬ。さういふ時代が來なければならぬと私は思ふのである。

世界の大勢と我が國民の將來（二）

講道館長 貴族院議員 嘉納治五郎

次には之れを一定の職業にある人にあてはめて見ると、人を使役する位置にある者は人を最も有効に使ふと云ふ事が即ち心身精力の最善である。よく部下一人々々の能力、趣味、天性等を觀て之れに應じて適當なる仕事を授ける。之れが出來なければ其人は人を使役する能力はないのである。又一家庭の主婦としては一家の支出を事の輕重に從ひ最も有効に割當てる。之れを誤れば即ち其人として心身の精力最善活用とは云ひ難いのである。之れは一國の政治を司る者についても同じ事で、海軍、陸軍の軍備のみに重きを置き、工業、商業、農業、教育其他各方面の調和を缺くやうな事があれば一國の爲政者として心身精力最善活用の教に適したものとは云はれない。各方面の事業が並行して進めば其國も健全な發達をするが、一方に偏すれば其國の發達も不完全となるのである。之ればかりではない。心身精力最善活用と云ふ事は吾々日常生活に至大の關係を有するもので、現に我日本人の生活方法には至極ムダが多い。食物の如きも多々改良の餘地がある。營養價値、供給量等の點から見て改良せねばならぬものは種々ある。吾々の常食とする米の如きは現在でも日本の產額は不足勝で、其上人口は年々增加する一方である。之れは米の消費量を減らして其分は他の代用食物を以てする必要がある。米には不足と云ふ事實の外に腹も減ひと云ふ缺點がある。即ち朝炊いた飯が晩には腐る。夏は冷飯になつて衞生にわるい。二千五百有餘年も米を食べ來たものだから原則として米を常食とする事は仕方がないが、代用食を次第に增して行く事が必要である。例へば馬鈴薯でもよい。この問題は專門家の意見をあつめて見ると營養研究所で研究して居るが、其經驗を元として比較的安價な食物から充分の營養價値を採る事が出來るとの事である。

陶々亭漫談［下］

豪雨の一夜松平松島兩氏歡迎宴

の安樂椅子にフンゾリかへりながら赤ら顔を帶びた主客は三々五々別室に陣取つて話はハヅンだ。肥滿せる松平氏に比べて松島氏は例の小柄な柔順しい態度で露國の近狀に付いて語る。

『余は出發前露國代表委員のヨッフェ氏を訪問して見て居た。夫は年齡四十位の壯年盛りであらうと思つたが、會つて見るとどうして〳〵若いと思つたは第一印で、打ち見たところ[illegible]見えた。顔は既にはず[illegible]であつた。共產黨の天下でも矢張り浮世の苦勞は絶えないものと見える。露國は人口一億を有するが其十分の一にも足らない位の僅々百萬のヂューに因つて征服せられんとしつゝある狀態だ。ヂューは露國民中でも實際は敵視して居ないやうだが、如何せん兵力もヂューの手に握して居るから侮蔑の望みがないのを自覺してか、敢て反抗することもできないやうだ。ヨッフエも同じく強固にして彼等一味は極めて親睦和して以て他に對抗して居る。彼等は頭腦明晰であつて、何でも好くできる素質があるさうだ、面白い現象には現在の露國の農業勞働者中には一人のヂューを發見せないと云ふ位であるツマリ彼等は勞働的努働を賤しみ得意の智能をふりかざして他民族を使役して居るとのことである』

斯う語りつゞけてゐる一方、また彼に光氏がアームチエアーにもたれながら、過ぎし巴里會議の懷舊談を低聲に誰かと語つてゐた。

『何せよお互でもあることだ。信用のできない人に向つては何の話も相談もできたものでない。國家の外交とて矢張り同じことだ、國際間の信用できないものが、どうして信頼が出來よう筈がない。巴里會議でも列國の或る者の中には日本を疑つて居たものもあつたやうだ。彼の時は佛のクレマンソーや、英國外相のグレーやピヨンと云ふ連中が頻りと日本の爲めに好意を以て迎へて呉れたものだから、順序が運ぶよく會議ことが出來たやうなものだが、今度の長春會議は事每にヨッフエーが懷疑の眼を以て臨んだことだから到底まとまるべき筈がないさ』

と暗に同僚の朋太刀口譯であつた。最前から降り續いた雨は此の頃稍小降りとなつた。此の間に各自退散して、思ひ〳〵の電車に飛び乘つた。日比谷の一角には雨に濡れながら留場に秋の夜の淋しさうに走る電車を見詰めて居る幾連れかの哀れな夜の面影め人が立つて居た（東京支局）

シヤッター

田中町村課長 ＝內務省＝

◆內務省の課長中最も少壯なるものに神社局の九鬼三郎氏社會局の富田愛次郎氏がある。そして町村課が都市課と町村課に二分さると同時に最初の町村課長となつた田中廣太郎氏も亦若い者の一人で、大正二年の帝大出身、町村財政に關しては何でもござれの利きである。◆過般の政變家らしい稍々艶の失せた顔に元氣のいゝ笑を湛へて『まあどうぞ』と、自ら椅子を持つて來んばかりに應接するところなか〳〵如才がない。『コレラが流行つて來なくとも我々は何時も不味いものばかりですよ』と茶話を始めたところへ、給仕君が一皿のライスカレーを持參に及んで、すつかり此の話を裏書してしまつた（在京一記者）

言論界

政友會の對支態度

『ジヤパン・タイムス』一千九百二十三年は日本に取つて餘程煩雜な年であらう。支那政府は明年を以て滿洲、蒙古、山東等に於ける日本の利權を回收せんと決心して居る。加藤外相が千九百十五年に支那に承諾せしめた二十一ヶ條の條約は支那の自由意志が伴はなかつたから無效であると云ふのである。之は政友會が憲政會を非難するに當り不用になつた武器である。現內閣は施政之が有效なるを主張し支那の要求を拒絶するであらう。從來の行がゝりから云へば政友會は當然支那の要求を是認すべきであるが、現內閣は或意味に於て政友會の延長にすぎない。彼等の態度こそ見物である。

浦鹽武器引渡問題

（中外商業）我西伯利派遣軍が全部撤退するのは最早旦夕の間に迫つて居る。勿論保管武器は浦鹽の自治團に引渡す方針らしい。引渡すと云つても、單に保管移轉であつて、自由處分に委する譯では無い。要するに浦鹽側の事態で相當の監視は爲すであらうが、果して之が完全に行はれるであらうか。疑問である。既に浦鹽市會では武器引渡を拒絶するといふ一派もある模樣であるから、恐らく我軍の希望する條件で引渡しを受けまいと思ふ。

東京市長と辭職說

【東朝】近來後藤東京市長辭職說が傳へられて居る。子の就任は九年十二月で、未だ任期の半分も經過して居ない。市民は子の過去の閱歷に信じ多大の期待をかけて居たが、今日迄の事業としては市政の上に於ける自治的設備と市政調査會の二項が目立つ丈けで、市民の熱望せる道路、下水、塵埃處分、交通機關、瓦斯の問題、衞生設備等の諸問題は部分的には着手し又は計畫中ではあるが、其れは何れも他の市長でも爲し得る程の極めて一通りなものである。斯く市民の期待は裏切られ、任期は半にも達せざるに、其辭職說が幾分の根據ありとせば、市長は公人としての義務よりも自己一身の名利の爲めに輕率に行動するの嫌ひがある。

川柳近詠

箱庭の雨

矢田右大臣

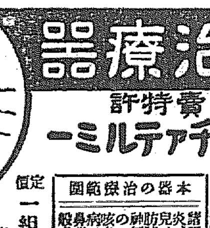
△お一人で來て下さいと手洗鉢
△泣きながら滯へ手毬の落ちた音
△太鼓持頭を立てても金になり
△稽古所に一人目に立つ臀の柄
△儈人の來るのが遲い銅鑼の過
△シヤア〳〵と四五人通る藝者來る
△あぶないと思はせる造工夫居り
△僕つてはみたが後から氣味惡し
△箱庭の池へ大きな雨が降り
△穩やかな娘へ酒氣を帶びた父

產科婦人科 外科花柳病
仁川濱町角（電話七三四番）
鶴田醫院

出版案內
文官巡査 試驗問題集 送料共七十五錢 代引八十五錢
イロハ字典付 鮮語自在 送料共六十四錢 代引七十四錢
受驗用 朝鮮語會話 送料共一圓五十六錢 代引一圓七十錢
中等學校入學試驗問題 補習算術 送料共八十六錢 代引一圓
朝鮮 高等普通中學女學校商業 入學試驗問題答案 送料共九十六錢 代引一圓十六錢
京城本町 振替京城二二二 ヤポツ社販賣部

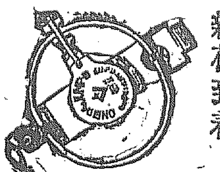
三省堂編輯所編纂 模範英語カード帳 新案登錄 五五一二四
東京高等師範學校教授 佐藤保胤先生著 英文和譯之鍵
理想的文法書 正則中學教諭 石川長之助先生著 初學英文法自修書
佐藤保胤先生著 神田乃武先生序 和文英譯之礎
片山寬先生 近藤和先生 共編 英語標準和文英譯法
近藤和先生著 英語書取獨習法
株式會社 三省堂 東京神田 振替東京三一五五

電氣透熱治療器
日英佛墺專賣特許
ーミルテアデ トンレーカチッエ



幾多の難病が僅に二三回の使用でカリなをつた
定價 一組拾八圓 送料內地五十錢 海外七十五錢
東京本鄉區天神町一ノ六六 日本電解工業所
朝鮮京城本町一丁目 日本電解工業朝鮮出張所

米國製けものとるきかい
新荷到着 世界に名聲轟く 米國製捕獸器を使用あれ
橫濱市住吉町一丁目 吉川米次郎商店トラップ部



鶴龜印に御注意
大正十二年御壽寳 大正十二年農家暦
愈々出た何人も明年の運命開運法御壽寳は國家の運命
大募集 東京本鄉區湯島四丁目 高島易斷總本部 神誠館

地球印各種帶革 新田式バラタ調帶 新田式ゴム調帶
合資會社 新田帶革製造所 福岡出張店

現今名家將棋戰
名人小野五平 八段井上 阪田 名人關根金次郎 八段土居市太郎
大阪屋號

嫁入簞笥 村瀨商店

本邦創始 製圖家養成講習錄

特價發賣
特價申込締切 十一月五日
〔詳細規定內容見本參照〕

科學大系

近世科學界の巨星トムソン教授の不朽の大業たる『科學大系』は、曩に發刊完成せるウエルスの『世界文化史大系』と並び稱せらるゝ世界的大著述である。幾千億年の古代より最近に至るまでの萬物進化の物語と諸科學發達の徑路とを、興味深い筆致と平明なる敍述をもつて描き、一千餘の鮮美なる挿畫を附して說明せる本書は、實に、天文學、進化論、微生物學、生理學、動物學、植物學、精神科學、心理學、物理學、化學、應用科學、機械學、氣象學等あらゆる科學の民衆化を企圖した最初の試みにしてまた美事なる成果を擧げた唯一のものである。嘗て『民衆の歷史』を要望した世界の思潮は、今や『民衆の科學』を欲求して日每に熾烈を加へつゝある。『科學大系』は正にこの欲求を充すべく生れたるものにして、科學の解放は本書によつて完全に成就されたと云ひ得べく、眞摯好學の士の熱讀を望む。

世界文化史大系內容見本進呈＝大鐙閣

內容見本（特價詳細規定掲載）申込次第進呈

トムソン著 全八卷
古澤瀧太郎 原田三夫 北川三郎 小倉謙 高木二郎 津崎瀧治 分擔譯
四六版總クロース天金極上裝 總振假名附總頁數三千頁原色版寫眞版凸版口繪挿畫一千餘
定價（全八卷）廿五圓六十錢 （各卷）三圓二十錢
特價（全卷一時拂）廿一圓（申込金共） （各卷分拂）二圓八十錢
送料 內地十二錢 鮮滿臺樺十五錢 外國七十錢
特價の利益
◇一時拂は四圓六十錢の利益
◇各卷拂は三圓二十錢の利益
申込金 二圓（申込金は最終代金中に算入）
◇申込金を特價申込締切日迄にお拂込になれば現品は便宜の時に特價にて御購入出來ます
配本順
◇申込金の着金順に致します
發行◇第一卷 十月廿五日 以下二ヶ月三卷の割合にて來春二月全八卷刊了の豫定

東京市京橋區木挽町 大阪市東區淡路町 大鐙閣 振替東京三六一八一 大阪二七一五五

英新内閣員顔觸

【倫敦二十四日發電】ボナー・ロー新内閣の顔觸れは左の如く公式に發表さる

内閣總理大臣ボナー、ロー氏 大藏大臣ボウルド、ウイ氏 外務大臣カーゾン卿氏 内務大臣ブリジマン氏 陸軍大臣ダアビイ卿氏 海軍大臣アメリイ中佐 農務大臣サア、ヘンダアス氏 商務大臣ロイドグリーム氏 印度事務大臣ピイル子爵 樞密院議長サリスベリー氏 大法官ケイブ卿氏 殖民大臣デブオンサア卿氏 保健大臣グリフイスボスコーエン氏 蘇格蘭事務大臣ゴバーン子爵 檢事總長フオーグ氏

獨賠償不能に陥る

【倫敦二十四日發電】伯林よりの報に依ればヴイルト氏は既に賠償を失へる故獨逸は最早賠償は全く不可能なるを以て破産を宣言し現金及び物品による賠償支拂不能を聲明しては如何との問題を閣議に附したり

賠償履行勸告

【紐育二十四日發電】伯林來電に依るとスチンネス氏は前相ヴイルト氏に賠償[illegible]の不可を説き賠償履行を勸め居れり

撤兵は廿六日で完了

浦鹽は混亂すまい―心配さるゝは不逞鮮人の對邦人態度

【東京電報】浦鹽の撤兵は二十五日大部の出帆を終り殘々二十六日午前六時を以てする出帆を最後として茲に全く沿海州の撤兵を完了し同時に浦鹽は赤軍の入市となり全く齊多政府の權内に入る筈なるが齊多軍の其後我軍の警告と浦鹽領事館の希望を重んじ相改めて態度を守り居れる状態なれば浦鹽の混亂状態に陥るが如き事は萬あるまじと唯懸念さるゝは不逞鮮人にして赤軍が之等の不逞鮮人を煽動して邦人に危害を加へんとする傾向なきにしもあらざるを以て參謀本部の松井大尉等が居殘る筈なりと

沿海州撤兵

【東京電報】沿海州撤兵は二十六日にて全部終了する筈にして之れと同時に東支鐵道管理部も全部撤退する事となれり日本政府は此の顛末を近く發表すと

米紙撤兵賞揚

【東京電報】紐育イヴニングポスト紙は論説に於て西伯利撤兵の實行は山東撤兵と共に日本の誠意を表彰するものなりとして日本の態度を賞讃したり

赤軍三方より浦鹽に入る

我が領事館の撤去を要求せん

【浦鹽二十五日發電】英米兩驅逐艦は陸戰隊を以て埠頭に土嚢を築り[illegible]に備へたるが廿五日午後三時赤軍は軍樂隊を先頭として三方より浦鹽に入れり齊多代表は我領事館及び軍艦の撤去を要求するならんと

浦鹽情報

二十五日朝鮮總督府着無線電信に依れば廿四日午後十一時迄の状況は左の如し

殘兵は二十四日午後一時より第一線の撤退を開始し夕刻迄に浦鹽附近に撤退し[illegible]市内には特に異状なし日本軍司令部代表委員の協議の結果(イ)二十五日午前九時一番河に於て日赤兩軍委員會(海軍一名參加)を開催押收物件の引渡し書類を交附す(ロ)午後零時二十分以後赤軍はセダンカ河を通過する事に協定なる驅逐艦はパトロール艦他の驅逐艦は午後四時三十分出動ノービック灣に向ふ其他に異状なし(朝鮮電報)

浦鹽勞働委員飛檄

【東京特報共同電報】浦鹽に於ける勞働團體の各職業組合實行委員會は十九日附を以て左記の檄文を市内に頒布せり

一、白軍一派が浦鹽より逃走するに際り自由財産を艦船に積み運ばれんとするに對し抗議の意味にてチタ軍の入市する迄同盟罷業を爲す事

二、浦鹽の住民の自由財産の保護を爲しチタ軍入市を援助する行爲を是認する事

之が爲各官廳は勿論銀行商社電信電話水道及私有自働車は運轉を中止せりグレーホール一派は日本軍に急援を求めたるが二十三日全然之れを拒絶せるを以て止むを得ずポセット方面に落ち付き二十四日スパルク提督も逃走しレムトフ軍隊の一部も同樣逃れ去れり

武器は齊多軍に引渡す

【浦鹽二十四日發電】日支兩軍の間に協定成り二十五日我軍撤退と入代りに齊多軍が入浦し一切の武器及財産は齊多軍に引渡すことゝなれり

小牧昌業氏

【東京電報】危篤を傳へられたる貴族院議員小牧昌業氏は二十五日遂に卒去せり

滿鐵社長赴任期

【東京電報】新滿鐵社長川村竹治氏は來月十日頃赴任の筈

佛海軍條約脱退説

佛脱退すれば伊も亦脱退すべく

[illegible]潛水艇につき制限を附せず主力艦につき佛國の艦隊勢力を增加するのみならず佛國は財政上英米との艦隊競爭に堪へざるを以てなり佛が脱退すれば伊國も脱退すべくこゝに於て日英米の間に新條約協定の必要を生ず[illegible]

[illegible]末に派遣し著名なる某會社と[illegible]目下[illegible]に向け[illegible]

川村新社長好感を以て迎へらる

島氏副社長説

【奉天電報】川村新滿鐵社長の任命は在留民に好感を以て迎へられて居れるが唯支那側は實業家出身を希望し居れり又副社長には島理事昇進に決定し居る模樣にて既に發令濟なりとさへ傳へられ居れりと

中川理事辭職か

川村氏の就任と共に同氏と殆ど同期に大學を出た中川理事及び松岡理事等は辭職するならんと

滿鐵理事不異動

【東京電報】滿鐵各理事は當然辭職を爲すべきにより近く一應辭表を提出する事となるべきが川村新社長は此際大人と[illegible]して止むを得ざる事情のある者の外は可成理事の異動を行はざる方針なりと

武器引渡問題質問

憲政會側の外相に對する

【東京電報】憲政會にては武器問題に就き二十五日加藤政之助氏以下内田外相を訪問し質問を爲したるが其内容は極めて嚴しきもの左の如し

(問)武器引渡に就ては赤白兩軍何れに引渡す方針なりや

(答)浦鹽自治團に引渡す事に決定し居れるも自治團に於て之れを受けず目下の處引渡しをなすべき機關なきを以て其儘留置するの外なしと思惟す然し人道上よりするも危險なる武器を留置するは甚だ遺憾なれば何人にか引渡したしと思ひ目下引受人を物色中なり赤軍に對しても然るべき引受者があらば之を引渡すも可なりと訓令せり

(問)二十六日を以て撤兵する我軍撤退後の治安維持の責任は何人に負はすや

(答)今は赤軍との間に使者を遣り赤軍の進入を防ぐ爲め衝突を避け居るも我軍撤兵後は浦鹽に赤軍の侵入して來るは明かにして浦鹽の治安は其後の情況に依つて實に保せしむる筈なり現にニコリスクに邦人二十八名あるも安全に治安は維持され居れり

(問)撤兵と同時に本邦に引揚ぐる邦人の數並に其遺留財産に關する状況及保護の程度如何

(答)撤兵の際陸と共に引揚げたるは約三千名にして殘留者は約千五百名なり引揚人中旅費の不充分なる者には旅費を與へたるが費用十萬圓を要せり

(問)北樺太の占領に就き抗議を受けたる事ありしや

(答)全然斯かる事實なし

豫算閣議

來月四日より

【東京電報】明年度豫算は二十八日より大藏省にて會議を開き來月四日より豫算閣議開かるべく豫算總額は十三億七千萬圓、減稅四千萬圓、減債二千萬圓、軍縮に因る冗費整理七千萬圓なりと

立花大將軍事參議官か

【東京電報】浦鹽派遣軍の歸國と共に立花軍司令官は軍事參議官となり同時に陸軍の小異動あるべしと

生肉鷄卵免税延期決定

【東京電報】生肉鷄卵等の免稅を大正十二年十一月卅一日迄延期するに決定し不日勅令を以て公布さるべし

山東鑛業創立協議

【東京電報】山東鑛山會社創立常任委員は二十五日午後四時鑛業俱樂部に會合礦村鑛太郎、和田豐治外十數氏出席協議會に移り支那側より日本側創立委員の代表者を至急派遣し[illegible]に對し大倉組の上野耶九郎氏が四五日以内に渡支する事に決した資本金は二千萬

天圖輕鐵契約無効申入

外交部を通じて我公使館へ

【北京二十四日發電】其筋着電に依れば天圖輕便鐵道に關し交通部は外交部を通じ日本公使館に向け中央政府の認可せざる國際契約は一切無効なりとの申入れを爲したりと

警察官配置增大

不逞團の侵入に備ふる爲め赤白兩軍戰鬪の餘波を受け不逞團の侵入に備ふる爲咸北警察部に於ては警戒を嚴重にするの必要を認め警察官の配置を增大したりと

大庭軍司令官の祝電と御答電

大庭軍司令官は秩父宮殿下の少尉御任官に對し二十六日祝電を奉呈し又朝香宮殿下御渡歐につき同司令官より[illegible]に對し二十六日鄭重なる御答電ありたりと

ボ氏は果して如何なる政策を執る可き乎

二十六日政策發表の筈

總督府某消息通語る

英國の後繼内閣は漸く豫報の如くボナーロー氏に大命降下し氏は茲に内閣を組織することゝなり二十六日氏の政策發表ある筈なるが果して如何なる政策を取るならんか右につき總督府部内某消息通の談に曰く

ロイド内閣の愛蘭に對する政策を非難し攻擊して之れを崩壞に導いたのはボ氏であつた、ロ氏は愛蘭の自由國に對して、純粹な獨立黨を應援した、其の爲め本年の六、七月に騷亂を勃發したのである而して之れが導火線を作つたものも矢張りボ氏の演説であつた、之れに依つて考へて見ると北方アルスターのカーゾン卿がボ氏と握手して入閣したのは當然の歸結である、其の結果は南方愛蘭に對するボ内閣の政策は一層强硬を加ふるであらう、次ぎに對歐政策は如何であらう、ロ氏の對歐政策は英國の經濟的見地から見ると已むを得ない政策であつたと思ふ、現に英國でも經濟的[illegible]

激烈なる電報を[illegible]發し[illegible]豫測が付き兼ねるが、併し對佛政策をより以上に緩和し圓滑ならしむる爲めには獨逸に對しては今少し强硬なる態度を取るか、然らずんば

現在佛國が主張

して居る『獨逸の賠償金を輕減するならば佛國が英國の手を經て米國へ償還すべき賠償金を相殺せよ』の方針に對して相當讓歩せねばなるまい。實に[illegible]は英國の委任統治になつたパレスタインの開拓事業を西亞細亞の猶太人のルーテンバークに特許したといふ[illegible]

ロイド内閣の[illegible]して居た、併し英國人の自尊的な感情は[illegible]政策が佛國と乖離せしめたことを非常に非難して居る、國家の大局からの見地と、個人の感情からの見地とは矛盾を生じて居る[illegible]がある、それでボ氏の對佛政策は或る程度まで緩和されねばならぬ筈である、又對獨[illegible]

缺點を暴露した

のであるから反猶太人の感情は到底拭ふべくもないものがある、故にボ氏の總選擧は恐らく入氣を博するであらう婦人の有權者が八百萬人もあるが英國の普通選擧になつた經路を見るに千八百三十二年に選擧法が發布されて以來二回選擧權の擴張を行ひ千九百十八年の選擧に於いて始めて完全な普通選擧を行つたのであるが、英國婦人は治的理解はあつて興味を有しては居るが投票には至極冷淡である から多くを期待されない、ボ内閣は勞働黨に對して如何なる政策を取るであらうか、千九百十八年に議員數七百六名に對し候補者が

千五百十八名も

あつた其内最多數を占めたのは勞働黨の三百七十六名であつて一擧に院を制しようとしたけれども見事に失敗したのである、今回も口氏が援助でもしてないない限り、ボ氏は勞働黨に對しては絶對反對であるから到底擡頭は出來まいと思ふ

煙草代用品取扱方通牒

煙草代用品の取扱方に關し當事務局長は和田財務局長に對し左の通牒を發したり

煙草專賣令第二十六條に規定せる煙草に代用すべき物品とは『ニコチン』を含有すると否とに拘らず製造煙草に類似せる外觀を有し煙草專用者をして煙草の使用に對する同一の慾望を達せしめんとするに足るものは總て煙草に代用すべき物品として取扱ふことに決定したるを以て若し之に相當する物品を輸移入せんとする者あるときは稅關に於て一應輸移入者に對し右の趣旨を説示し若し輸移入者之に從はざる場合は當該稅關長より直に所轄專賣支局長に輸移入者の住所氏名輸移入品の種類名稱商標數量價格を通報する樣各稅關へ通牒ありたし

畜産協議會總會建議案

朝鮮畜産協議會總會は二十八日午前九時より京城ホテルに於て開催の筈なるが右に就き廿五日足立丈次郎、肥塚正太、名倉勝、吉田雄次郎、松崎、小野泥之助氏等協議會を開催し左記建議案を提出するに決定したり

一、朝鮮の畜産施設を一層充實せしむる事を其の筋に建議する件(本協會提出)

二、畜産試驗場を設置せられたき件

三、産馬獎勵の一助として補助金を下附せられたき件(以上荒井初太郎提出)

四、畜産組合法制定に付總督へ請願するの件

五、家畜市場法制定に付總督に請願するの件

六、輸移出牛鐵道運賃値下及輸送方法改善に付滿鐵に要望するの件

七、種牛牧場設置に付國庫より補助せられんことを建議の件(以上平壤畜産組合長提出)

八、朝鮮總督府に畜産課の設置を總督に請願する件

九、大阪毎日新聞社長朝鮮畜産協會總會の決議を以て謝狀を贈るの件

一〇、朝鮮畜産振興の根本策として畜産金融の圓滑を圖り且つ其の擴充に就て當局に要望の件(以上廿號提出)

一一、内地の畜産と朝鮮畜産との連絡を一層濃厚にならしむるの件(常松泰氏提出)

一二、畜牛共濟に關し其の筋に要望の件(慶北畜産組合聯合會提出)

一三、畜牛契規約準則の制定を其筋に建議する件(肥塚正太提出)

一四、獸醫畜産に關する教育機關の設置を朝鮮總督へ請願の件(白田彰作提出)

朝鮮穀物聯合會

朝鮮穀物貿易商組合聯合會にては十一月九、十兩日木浦府に於て第六回總會を開催する由

將來有望なる咸北

道路は拓かれ人口は益々增加

天圖輕鐵反對は支那自身の損

大塚内務局長歸來談

有吉總監に隨行し國境視察の途より歸れる大塚内務局長の感想談に曰く

咸北國境を視察して私の最も感じたのは有吉總監の所感の如く我々の想像より以上に同地が拓けてゐた事である鏡城新阿山方面では草鞋がけで旅行しない限りは目的地に達するは不可能だらうと餘計な心配を運しくしてその準備までも整へて行つたが一度

現實を目擊

すると全く反對な好道路で自動車が充分に走れると云ふ事實だ從つて國境方面にも相當な村落が形成され年々移住して來る[illegible]

撤兵に伴ふて相當避難民は來て居つたがそれが爲め國境の住民が不安を感じてゐると云ふ説は

事實が實切

つて說明した時々は匪賊强盜の類が對岸から侵入することもあるが斯うした二三の例を以て國境が不安だと斷定するのは誤謬も甚だしいものである、天圖輕鐵の敷設工事は目下着々と進んでゐるが例の支那側から故障がついて一頓挫を惹起されつゝあるのは吾人の遺憾として措かぬ所だ、同輕鐵の竣成は啻に交通の便のみでなく

間島の産業

を開發すべき好個の鍵たるを失はんのであるから[illegible]下らない利權の問題に因はれ頭固に反對の氣勢をあぐるなど之を一面から觀察せば支那夫れ自身の不利益であつて實に支那の爲め惜むべき事である

北鮮視察中内鮮人に對する

有吉政務總監の模範的態度

―人力を傾けて尚ほ融和の實擧らずんば―

―矢盡き刀折れて臣が事畢んぬとの覺悟―

頑々たる石も叫び惛々たる土も泣かん

(清津より會寧まで) 田邊掠鳥

有吉總監一行は清津に於いて府廳、監獄、を始め法院支廳、大陸木材會社、三工場、陸軍運輸部出張所、稅關支署、警察署、土木部出張所、金融組合等の十餘個所を[illegible]視察した、總監の前の數時間に斯くも多數の視察をなすことゝて如何に總監でも徹底的の觀察は不可能であつたかも知れない。けれども總監には流石に人をして敬服せしむべき用意と態度とがあつた、耳を傾けるに熱心であり人に接するに際しては聊かも城府を設けなかつた、總監は清津府の官民の多數と會見して意志の疏通に努めた。そして恰も眞實の骨肉に對すると同樣な態度を以て人々に接したことが如何ばかり是等の人々を感激せしめ感謝せしめたか分らない。

× × ×

一行が清津を出發したのは此の日の午後五時半であつた、汽車は三等車で中央に置かれた一脚のテーブルを挾んで總監の前に大塚局長と藤原知事とが[illegible]、其後には中村通譯官、川崎事務官、武井官房主事、吉村内務局[illegible]等一行の人々の外に[illegible]田中警察部長、[illegible]高等警察課長及び[illegible]まで見送りの三浦理事官一行や伊藤京城府出張所長等の人々で車内は身動きも困難な程であつた。警察部長は總監に[illegible]の状況に關する説明を聽取した、車窓の外には北鮮の秋色が事の進行に伴つて益々濃厚を加へて行つた、四月頃から八月にかけて無暗に惡ろしい霧雨に鎖さるゝ咸鏡平野も今は黄金色の稻穗の波が緩やかに打ち靡き天は碧瑠璃に澄み渡つてゐる。

× × ×

此の夜の七時十二分に汽車は富寧驛に着いた、ホームには附近の内鮮有志者や小普學校の生徒が總監を迎へるべく汽車の到着を待つてゐた、總監は[illegible]汽車の[illegible]ホームに姿を現し慈父の愛兒に對する樣な優しい態度で生徒達に向ひ『歳は幾つか、學校は近いか、おぢさんは[illegible]、お腹が空いたら家へも歸らないで待つてゐたのか』などと思ひやり深い言葉をかけて彼等の勞を[illegible]つてゐた、學校生徒の一群と内地人團體との間には十餘名の老いた鮮人が列を作つて同じく總監を出迎へてゐた、總監は斯うした[illegible]の人々に[illegible]丁寧な言葉をかけて『遠路の所を態々お迎へ下さつた皆さん』[illegible]ひます』と述べた。其他の地方有志者にも一々『御苦勞樣でした御禮申します』と挨拶した後にも[illegible]『今夜は[illegible]の汽車で[illegible]』と[illegible]普通學校生徒の中には此の汽車で古茂山方面に歸るべき生徒が十名近くあつた。總監は其等を[illegible]

や否や『さあ私に遠慮はいらぬ、早く生徒達を此の汽車にお乘せなさい』と附添ひの教師を促して自分より先に生徒達を乘り込ませた。總監の言葉は並居る人々の頭に深い感銘を刻み込んだ。一同は感激の露を眼に浮べて總監の顏を打ち守つてゐた

× × ×

汽車は夜の帳を衝いて進んだ、古茂山にも輸城にも鶴峰にも内鮮有志者や學校生徒が同樣に迎送の爲め態々驛に出て居た、總監は斯うした驛毎に必ず自らホームに降りて親切に熱心に挨拶した、[illegible]其の勞を犒ふことを忘れなかつた、[illegible]先き三里の陸軍驛には大河内會寧憲兵隊長及び[illegible]長の二氏が一行を出迎への爲め態々來てゐた、會寧に着したのは九時半であつた。官民多數の出迎へを受けて[illegible]會寧館に入つた、[illegible]總監は北鮮地方視察の爲め出張して來る[illegible]

(十月十四日記事)

勤務演習注意

願書を提出せよ

大正十二年度の勤務演習召集猶豫出願期限は來る十一月末日限りなるが在鄕軍人中には本年度の點呼及び勤務演習を[illegible]監理上中止せられたる事を以て明年度も同樣中止し又は減少せらるゝものと[illegible]演習召集の[illegible]改正せられたる者の[illegible]

貿易不振【上】

―十月上半―

[illegible]界の沈衰及び物價騰貴に伴ふ[illegible]よりして各商人の如きは幾分仕入れを手控ゆる實狀にて十月上半期[illegible]貿易に就き總督府調査に依れば輸移出入合計一千二百四十七萬餘圓にして之を前年同期に比較する時は實に五百四十五萬餘圓の減退を示したるは既報の如くであるが今[illegible]の内容につき昨年と比較するに輸移出に於ては穀物及穀物類の增一千六百九十一萬餘圓を示し下半期に入りても七月に於ては尚百九十萬圓の增加であつた八月に至り八十八萬餘圓の減少を告げた次に魚類其他の水産食物は上半期中五十五萬餘圓の增進を示した[illegible]に入り各月共相當の增進を示した[illegible]月は五十一萬餘圓の增加を示し[illegible]其他の飲食物及煙草と牛皮其他の皮毛骨角類と油脂蠟材並染料と絲綿繊維及同製品の四類は上半期中何れも不振の状態であつた而して四類中輸移出額の最も大なる繊維類は七月迄不振を續け八月に於て稍增進したけれども前年と餘りに大差なき状態であつた又礦物及金屬類並同餘の雜品にありては上半期中は概して增加を示したが下半に入り大勢不振に陥つた要するに本年輸移出貿易增減の大勢は例年の通り穀類に依つて左右されて居ると概言することも出來得るのである又其數量に於ては前年程の出荷は無かつたけれども市價が前年より高價を維持して居つたから生産者側に取つて有利な狀態を齎したのであるが八九月に至つて右の有利な狀勢が消失して數量と共に價も亦減ずるに至つた

東拓移民状況

悲觀説は虛傳

東拓の移民は年々減少の傾向ありと一時前途を悲觀されるやうな噂があつたが實際の成績は豫想ではない[illegible]五十四戶に達し僅ながら豫定の戶數を越過して居る、

尚本月末迄には

多少の申込があるらしいが東拓にては[illegible]より優遇主義にて理想に近い良農のみを募るさうであるから結局は百戶内外となるであらうと思はれる。移民の生活状態改善については同社も常に苦心する所であるが僥榮とか天災とかにより打擊を蒙つた少數を除いては總て内地農民に比し安樂な生活をして居る、即ち最近の調査に依れば同社の移民數は左の如くである(甲乙丙は生活狀態の良否によつて區別したもので甲は年々必ず相當の餘財を生ずるもの、乙は餘財を生ずる事もあり又收支相償ふもの丙は餘財なき年もある事もあるもの丙は年々收支相償ひ或は年に依り又は缺乏を生じたる時は補給を爲す[illegible]

	甲	乙	丙
京城	一四四	二三三	二四五
大田	一七九	一七五	一六九
木浦	二〇〇	二五二	二二九
大邱	一〇〇	二七二	五二二
釜山	九八	三七〇	二〇〇
沙里院	二五〇	三五四	二四〇
平壤	一一	一〇	
元山			一三

不足を生ずる者

理里支店の分は報告未着の爲め調査表は漏れてゐる

即ち甲八百八十五、乙千五百六十一丙八百二十五戶で之を内地農民に比するに甲の階級に屬するもの一と[illegible]して居るに比較せば相當良好の成績を示して居ると云ふ事が出來る。東拓移民は此の外に十町步移民五町步移民の三種であるが此中五町步移民は昨年から始めたもので未だ其收支狀況は[illegible]

黑鉛移出状況

[illegible]

改正精査委員

【東京電報】今般政府より[illegible]

宮島郁▲安原伴一郎▲岡部長職▲有松英義▲富井政章▲倉富勇三郎

十月廿八日

▲五獻▲何事も不如意から[illegible]▲三日以來[illegible]は不利時節を待つが[illegible]▲日劑がに[illegible]▲九紫▲[illegible]▲友失ふ日[illegible]▲三碧▲世間の[illegible]

至急電話申請

來る十一月一日より五日迄受理

來る十一月一日より五日まで京城郵便局電話課に於て至急電話開通の申請を受理することゝなりしが本年度の豫定にて抽籤を執行する由龍山分局五十名は京城本局約二百名龍山分局[illegible]

ひ號國債募集

大正十二年十二月一日償還期限の朝鮮事業公債(ろ號)の借替及朝鮮に於ける事業費支辨の爲め今回五分利國庫債券(ひ號)五千萬圓を左記の條件で發行し十一月二日から同四日まで募集を取扱ふとのことで今回大藏省から其筋へ對し一般國民に成るべく多く應募する樣に勸誘して貰ひたいと依賴して來たと

▲發行價格=額面百圓に付九十二圓七十五錢代用(朝鮮事業公債國庫債券の『ろ號』及臨時國庫證券の『ろ號』に限り)應募は九十二圓二十五錢

▲償還期限=大正十七年三月一日

▲募入決定=十一月十日

▲拂込期日=第一期十一月十日五圓(應募申込保證金振替)第二期十一月十七日八十七圓七十五錢

▲初期利子=一圓四十六錢(大正十二年三月一日渡)

▲利廻り步合=現金拂込の分六分八厘餘代用拂込の分七分餘

▲其他は五分利國庫債券(き號)募集の分に同じ

[illegible]小作でありが十町步移民(二町步を自作し他は小作せしむ)の平均收支狀況を見ると(七人家族で耕作するもの四人)一箇年の收入三千四百一十九圓支出千六百四十三圓差引千七百八十三圓になる又二町步移民中耕作に從するものの收入二千二百七十四圓八十錢支出千七百〇七圓四十九錢で五百七十二圓三十一錢の餘裕がある又此の平均收入は收入千三百十五圓五十錢支出七百八十七圓九十錢で二百四十九圓六十錢の餘財が出來る內に屬するものは收支共千圓乃至千二百圓で相匹敵して居ると

畜産技術官水原行

[illegible]畜産技術官會議は去る廿三日より總督府第二會議室に於て開催中なりし處昨日は休會し野口技師の案内にて一同は廿六日午前十時南大門驛發列車にて水原勸業模範場の見學を爲したり廿七日は午前中打合會午後は畜産課長以下各課長列席の下に[illegible]會に出席すべしと

同時[illegible]に全鮮[illegible]を招集し會議する由なるが本局よりは[illegible]

辭令

小學校及普通學校教員試驗委員長を命す 總督府學務局長 長野[illegible]

小學校及普通學校教員試驗委員を命す

公立學校職員及給與審査委員長を命す

社外指定學校職員試驗委員を命す

總督秘書官 中村寅之助

總督府事務官 李井

總督府通譯官 深田[illegible]

朝鮮美術審査委員會幹事を命す

同 志岸[illegible]

同 四[illegible] 新[illegible]

(以上二十六日附)

出張命令

水産試驗場技師 長友[illegible]

京城へ出張を命す

第一高等普通學校長 加藤常次郎

滿洲國及東京府へ出張を命す

親鸞大講演會

府内[illegible]山本願寺にては來る二十六七の兩日午後八時より同寺に於て立教開宗七百年記念親鸞大講演會を開催する由なるが講師は宗教界の權威東洋大學教授野賀洋師にして一般の聽聽を歡迎すと尙同寺にては目下(二十一日より二十八日迄)親鸞聖人御佛像[illegible]を爲しつゝありと

人事消息

▲棚間軍之佐氏(朝鮮新聞會社取締役)二十五日入城天圓樓へ

▲影山穀郎氏(内外評論社長)二十五日入城山本旅館へ

▲山木重雄氏(忠淸南道理事館)二十五日入城山本旅館へ

▲仁田直氏(東帝大教授)二十日入城朝鮮ホテルへ

▲石田直氏(醫學博士)二十五日入城朝鮮ホテルへ二十六日木浦に赴き即日歸城

▲戶島禎次郎氏 消潤電鐵品評會出品審査員として慶北へ出張の處二十五日夜歸城

▲赤峻信太郎氏(商業會議所副會頭)二十六日[illegible]

▲廣江澤次郎氏(實業家)二十六日朝出發一週間の豫定にて滿洲へ

▲天日常次郎氏(京信社長)二十六日朝歸城

▲中永渡三氏(新任大分縣内務部長)十二日[illegible]の爲め二十六日各方面を歷訪三十日朝出發赴任の由

鮮浦通信杜絶

十九日以來浦鹽に於ける混亂に依り朝鮮浦鹽間の通信は全く杜絶するに至り驛務局より派遣され居る小松事務官の如きも消息一切を知るに由なしと

浦鹽電報不取扱

浦鹽電報はその爲め同地宛電報の取扱をなし難き旨大北電信社より其筋へ通牒ありたりと

至急電話の申請[illegible]電報申込みを爲すべし[illegible]

新聞學研究講座

新聞及新聞記者主催 東京市麴町區内幸町新聞及新聞記者社にては本年創刊三週年に達したるより記念の爲め來る十一月一日より八日迄學生現職記者並一般記者志望者の爲め東京朝日新聞社樓上に於て新聞學研究講座を開催し新聞に關する智識を普及せしむる由なるが講師は斯界の權威者なりと尙日曜日には水野内相、東京市長後藤子爵其他の出講あり講習料七圓、詳細は新聞及新聞記者社に問合されたしと

全鮮機關區長會議

朝鮮鐵道にては二十六日より三日間本社に於て全鮮機關區長會議を開催

[茶話]

二十六日我浦鹽派遣軍はいよ〳〵全部撤退後の撤退をなした▲これが爲め赤軍も[illegible]に進入せる過激鮮人が今にも國境に殺到して鮮内を脅かすが如き流説を爲すものがあるが▲國境の警戒は嚴重で武裝團體であらうと又は個人の潛入であらうと斷じて不可能であると▲二十五日京城を通過したメルクロフは實は兄のメルクロフで國際聯盟擧行の[illegible]▲二十五日京城を通過したメルクロフ[illegible]であつたけれども此の兄弟を誤ることになつてゐる▲財務局の稅務課長は[illegible]で關稅課長も同じく姓は井上である井上氏が忠北の財務部長であつた頃に稅務課長の井上氏も財務部長であつたことがある▲其爲め卜常手紙がよく間違へられてお互に機密の相殺をしたことは決して一再ではなかつたが▲中には本府から長距離電話で呼出されてアノ書類の回答を早く提出しなくては困るぢやないかと井上違ひで叱られたこともあるさうだ

最新刊 [illegible]

大阪屋號 京城本町二丁目 振替京城二五七三 本局電話六八四、二〇八六

せきずいをすきかいな 脊髄コルセット

專門製作所 高野 京城本町二丁目 醫療機械各種

三好省七儀病氣療養不相叶去ル二十三日死去致候此段生前の厚誼を謝し謹而御通知申上候 追而葬儀は二十六日午後二時より南山本願寺に於て相營み申候 大正十二年十月廿六日 妻 三好清子 兒 三好珂一郎 友人 中村富二郎 上田清吉

キュポン! キュポン! 買物するなら品がよく値が安くオマケに景品を差上げる 大キュポン 陸 明治町電車停留場角

解任 本月廿一日ヲ以テ當社取締役津野當馬解任ス 大正十一年十月二十七日 株式會社京城株式現物取引市場

商業登記公告 [illegible] 鐵原支店

平壤チブス病源問題
病毒は水道にあると 志賀博士の談を讀んで
平壤水道當局憤慨す

『平壤のチブス病源は水道にあり』と總督府醫院長志賀博士の談が端無くも本紙に出て以來是非の論は紛糾として各所より起つてゐる。果して病毒が水道にありとすれば重大問題である。先づ水道當局の之に對する意見を訊く必要がある右に就き平壤水道水質試驗擔當技師渡邊信臣氏は語る（平壤）

志賀博士の『病毒の徑路を水道に認めねばならぬ』と云ふ說は洵に了解に苦しむ次第である、平壤のチブスは頗る猖獗を極め稀有なる發生的數字であるが博士の說として目下十五人に對する一人の斯病者があるとは何に依つて

斷言されたか 目下平壤の人口は八萬三千餘であつて斯病に罹つた者は九百餘人であるから之より打算する時は百人に對し約一人强の數合になつてゐる。十五人に一人の割合なりと說明されたが斯の如く非常に誇張せる數字を擧げて社會を脅威せしめらるゝのみならず平壤八萬府民に一大脅威を與へらるゝが如きは頗る遺憾に堪へない加之斯病の流行せしにより附近の河水に混入せる事を指示されてゐるが斯樣な事は

絕對に無い 本年三月二十一日府の約一里上流なる林氏邸に於て一人のチブス患者の發生を見た事はあるが當邸の發生は九月の初旬であるから既に半歲を經過せる爾で其の間數の餘り長きと河水其の物の自淨作用もあるから斯病菌の存在を假定しての博士の斷定的言は頗る解釋に苦しむ次第である、假に其病菌が大同江に存在せるにせよ、該病菌が水道の取水口に流れ入る位ならば林氏邸前四里の下流の漁村には常に江水を盛んに飲料として生活してゐる人が無數あるから夫等の人々も感染しなければならぬ筈であり平壤下流の漁村にもチブス患者を見なければならぬが斯病者の發生を未だ耳にしないのは不思議であると云ひ得やう。次に平壤水道の濾過裝置は砂礫濾過法の緩速濾過式であるが元來濾過層の完全なるや否やは主として細菌試驗により判明するのであるから試驗者にあつては何時病菌の侵入するやも計り難いのであるから常に此點に最も重きを置いて試驗しつゝあり而して從來の試驗の成績に徵すれば濾過層にありては

少しも異常 を認めないのである、但し一部分の細菌の通過する以上は病菌も通過し得る虞ありとして今假に濾過層を病菌が通過して該病菌の含有されたる水が市內へ送水せしものとせば由々しき問題で發生當時市內一時に散在的に傳播される譯だと思はれる、然るに流行當時は極めて小區域の局部的に患者の發生を見たのみである殊に最も多數の人口を有する西門町以北に居住せる內鮮人に於ては今日に至るも殆ど斯病者の發生を見ない有樣である

又發生當時 に衛生課より病菌を發見せんとして臨時に多數の府內各種の水に就て試驗されたが總て陰性であつた。又府としても試驗したが一として該病菌を發見しないのである。以上の狀態より推理し『平壤のチブス病源の徑路は水道に認めねばならぬ』と云ふ論は吾人の殆ど解する能はざる處である。又水道より傳染病の媒介せらるゝ場合は多く濾過設備を缺く水道或は不完全なる濾過に依る水道にありと聞けるが

平壤の水道 と同樣な設備の他の水道に在りては傳染病の媒介せる例あらば大に參考にしたいから重ねて御意見を承はりたい要するに此際協力病菌の撲滅を計り安全の策を講ずる事は最も急務の事であるから『病菌の經路を水道に置かねばならぬ』と云ふ根據に就いて識者の御高教を仰ぎたいものである。

水掛論よりも調査
探究して根本策を講ぜよ
平壤慈惠醫院長　永井軍醫正談

平壤チブス病源が水道にあるとか無いとか大分議論がやかましくなつて來たやうであるが、

適確な證據 を有し無い限りは何れにしても水掛論に過ぎない、病源は水道にあるとも斷言が出來なければ又水道に無いとも斷言は出來ない。何よりも先づ探究して病源を確見しそれと同時に根本策を樹立して再び此悲慘事を繰り返さしめない事が肝要である。人口八萬三千の處へ約一千人のチブス患者が僅々五十日間に發生した事は全く稀有の事である、決して看過すべき問題ではない。外國に於ける腸チブス

流行の歷史 を調べて見ると、主として病源は牛乳と水道とにあるやうである。曾て獨逸のハンブルクで腸チブスの大流行を見た時も病源は河水にあつた例もあるから私も憂慮の當初牛乳か水道に病源があるのではないかと先づ水道の水から調査を始め、前後三回も試驗をしたが病源は幸ひに發見しなかつた。但し一合や二合の水の試驗だけでは絕對に病源がないとは斷言は出來ない、大仕掛でやるか試驗を重ねるか、更に

調査探究の 要を認めてゐるが當時病源がゐて現在ではゐないかも知れない。であるから私は輕々しくゐるともゐないとも斷言する事を憚る。併し醫事としては調査研究の必要を認めるから私は今後研究して病源の原因を知りたいと思つてゐる。是が虎列拉とかペストとかならば感染で發病するのが早いだけに病源は何にあつたか直ぐ分るがチブスは潛伏期が長い丈けに病源の原因調査は中々困難である。都市衛生として最も大きな事を除くのは上水道は云ふ迄も無く、下水の疏通設備の完全、塵芥箱の處所を定め

清潔を保持 する事である、それに各人がもつと衛生思想を向上しなければいけないと云々

物價調節協議
【全州】既報の如く物價調節は目下の急務であるが道には道評議會議室に於て官公衙の代表者集會し消費節約に關し協議を爲し着々實行して一般に其の範を示すことにしたが全州面では二十三日同會議室に民間各會社銀行新聞記者等の代表的人物を招集して左の事項に就き相談を爲し生活改善のため近く公會堂に主婦會を開いて講演をも爲す筈である

一、日常必需品の價格引下
二、物價問題と家庭
三、蔬菜市場の必要
四、燃料の供給
五、住宅の供給
六、電燈料
七、消費節約の獎勵
八、貯金の獎勵
九、公設市場と購買組合
十、日用必需品價格の公示
十一、度量衡器の附付及計量器取締

等に就て打合せたる處意見何れも區々にて容易に一致せざりしが何れも當局に於て適宜の措置を取り物價の調節を圖ることとした

自由競爭
組合規約を改正し 實現乎
【釜山】釜山人力車組合の紛議については既報の通り當業者間に於て之が對策を考究中であつたが之に對抗すべき鮮人組合を組織せんとの意向もあつたが獨り人力車のみならず釜山に於ける各組合は組合と云ふ名にかくれて盛んに之を利用するの傾向あり延いて物價調節の實現にも大障害をなすの觀あるを以て寧ろ或程度迄自由競爭の實を擧げしむるの主旨に於て先づ第一着手に人力車組合に大斧鉞を加ふる事とし其組合規約中より『新に營業せんとする者は本組合に加入すべし』との一項を削除する事としたが尚次の組合即ち藥種組合、藥劑師組合等を始め其他の組合にと及ぼす意向を有して居るが各種の經濟的關係もあるので充分なる考慮を要する事とし目下愼重研究中である

馬山昌原地主會
【馬山】馬山府內の地主間に於ては經濟界の惡化につれ今般府下各地に散在する地主の懇親を兼ね地主會を組織しつゝある地主會は馬山府及び昌原郡地主聯合して來る三十日午後一時より馬山府樓上に於て會合し左記事項の協議をする筈で當日は澤山の出席者を見る豫定で協議の上一場の訓示をなす豫定である

協議事項
一、現行慣行中改善を要する事項（本項は實行の容易なる事項のみに就き協議する事）
二、本年小作料收納期に於て實行すべき事項
三、農事改良上地主の採るべき事項

戶別稅賦課調査
【釜山】釜山府戶別稅査定及び府吏員死亡給與金設定等に關する委員會は本月十二日其第一回委員會を開催以來數回に涉り審議を進めて居たが愈二十五日午後二時から最後の委員會を開き審議を重ねた末本會議に於て夫々可決したが今回の所得稅を標準とする戶別稅の賦課は千圓未滿の所得に對しては課稅し無いので結局總額に於て異動なきも個人として負擔額は幾分增加する事となる由である

鴨綠江終航準備
【安東縣】當地海運界は漸次終航の近付き來る爲め荷繰の爲め繁忙を告げて來た大連汽船會社は十一月十五日入港十七日出港の天潮丸を本年度の終航とすべき筈で政記公司は十一月八日頃其他朝鮮郵船及び大阪商船等何れも二十日頃迄には全部終航の豫定であるが昨今天津及び山東方面の木材輸送は非常に繁忙を呈して居る本月に入りて大沽の時機ひたる木材は臨時船七隻にして何れも木材を滿載して天津方面に急送したるが今後も益々に困難を生ずる有樣で頗る繁忙の狀態である

滿洲瞥見【七】
哈爾賓にて　靜山生

表忠碑畔に低徊顧望し馬賊の舊蹟を返す牧牛の群二三十、國家の治亂興亡などは知らぬ顏して枯れ草喰むを見るハルビン驛頭の曠野は其の盛衰を知らず、若し今後西伯利の秩序が恢復せられて商工業の復活を見るに到るなどは、現在の人口四千萬人と稱する滿洲の大都市ハルビンは更に大なる購買力を有するものと見る事が出來よう、前途多幸なるハルビンの前途は偉なる哉

國際都市ハルビン第一と稱せらるゝ露人經營のデパートメント、ストアーなるチユウリン洋行を見る、階上階下百貨山積、出入の顧客又頗る多い模樣である、店頭には日本商品も可なり多くを見るが近頃獨逸品の侵入は素晴らしい勢ひだ相で、近く日本商品はハルビン及び西伯利より驅逐される時機が到來するであらうと遂に豫言されて居る處である、今は一般に嗜好されてゐるが、は玆に最近數年間の輸移出入の統計數類を有せぬから之を斷言することは予には出來ない、チウリン洋行を出でゝ傅家甸見物に廻る

國吉君は云ふ日貨を排斥するものは日本の商人であると、其の理由は日本人の店で買ふ日本品は支那人の店頭にて買ふ日本品よりも高價であるからと云ふのである、この現象は獨りハルビンに限らず、滿洲到る處に見る處であつて敢て怪しむには足らないけれども、以て日本の對外貿易政策上大に講求せねばならぬ問題である、

東淸鐵道 の線路を境界として松花江畔に沈む處の上流が新市街下流が傅家甸と云へば早判りであらう、傅家甸は純然たる支那人の市街である、其の繁昌の著しい事はハルビン在住者と雖も舌を捲く程であるが、今後の發展も恐らく想ひ半に過ぐるものがあるであらう、最近建設せられて居る新市街には更に新市街が建設せられつゝある、又其の家屋の建築たる凡て洋風の煉瓦造りで而も三階四階の大廈高樓の櫛比を見るのみである。市は繁榮、未だ傅家甸を見ない前には天津や、安東縣に見る城內又は新市街に毛の生えた位のものであらうと豫想して居たのであるが百聞は一見に如かず、一度傅家甸の市街を見て始めて支那人の商勢力の恐るべきものを知り、市區建設の巧妙なるを認め、交通衛生其他の組織的能力を十分に窺知し得る民族なる事に感心した

傅家甸に於て正午となる、空腹を覺えたので支那料理店新世界に上る

堂々四階建の大建築、而も室內の清潔、器具の鮮麗、他に多く其の比を見ざる處であらう、喫食を終へつて後、採木公司參事大津君から與へられた紹介狀を携へて十八道街の假議を訪問、假議とは地名でもなし鴨綠江採木公司出張所の屋號が雅號に近いものであるとか、假議には主任の中村氏も次席の田氏も共に數日前より其の伐採地である山に出張中であつて面會する事を得ない、留守中に若い人があつたけれども北滿材の伐出し其他の事に就ては一向御承知がない爲めに折角の訪問も其の收穫は零に歸したのは返す〲も殘念である、但松花江畔に於て採木公司の伐採する木材で本年無事に搬出したるものは約一萬三千尺締で、其他の數萬尺締は九分九厘の處に於て支流から本流に搬出す事が出來ないで遺憾ながら今後撤收することは不可能であらうと云ふ事であつた

穀物協會落成式
【仁川】仁川穀物協會は曩に新築落成したるを以て今春來新館舍に移轉せるが諸種の事情の爲め落成式の擧行を延期したるが時恰も晚秋の好季を迎へたるを以て愈々來る二十九日同事務所樓上に新築落成披露の宴を催すべく米商組合各主組合の三團體の合同なるだけに案內狀を發せるもの四百名の多きに達せりと盛況なるべし

群山慈惠開院式
【群山】群山慈惠醫院開院式は既報の如く二十三日午後二時から同院後庭の特設會場で擧行された、總督代理太田技師、總督府都井技師、亥角全北知事代理其他各地慈惠醫院長及び官民數百名參列太田技師總督代理として告辭があつて亥角全北知事、宮崎群山府尹、德永沃溝郡守、北村群山署長、沖津全州慈惠醫院醫官、大澤群山商議會頭、磯部府協議員、高洲群山日報社長、藤田町友會總代、磯群山慈惠醫院職員總代等の祝辭があつて式を終り祝宴に移つた尙宴席では花月檢妓の手踊等の餘興もあつて盛會であつた

文化住宅圖案展覽會
廿九日仁川寺町小學校講堂で
同夜講演會も開催
【仁川】朝鮮建築會主催の下に本社仁川支局後援で文化住宅圖案展覽會を仁川寺町小學校講堂に於て開催する事に決定した住宅問題に就ては可成りに社會研究家の興味を惹いて居る處一般の參考と如何なる資料を提供するかに就て京城に於て之を催して大方智識階級の喝采を受けた事は頗て仁川有志者の期待を喚る所以だと信じらる殊に當日午後七時からは同所に於て左記名士の住宅問題に關する講演會が催さるゝ事になつて居る既に準備中であるから更に次號に詳報する事とする

講演者と演題
一、本會の使命　朝鮮建築會常務幹事　加納博
一、都市と保健附仁川浴場に就て　滿鐵建築課長　植木茂氏
一、演題未定　總督府技師　笹慶一
一、經濟生活への住宅改善　鮮銀營繕課長　小野二郎
一、都市計畫と住居問題　殖銀營繕課長　中村誠

馬山神社秋祭
【馬山】馬山神社秋季祭は十一月一日、二日の兩日である、例年神輿の渡御は本年は二日に於て舊馬山の御旅所に渡御せられ兩日各町を練り步くの例であつたが本年は新例を開き京城、釜山各地の夫れの如く神輿は牛に曳かせ行列を整へ賑々として舊馬山に渡御せられ一泊翌日新馬山に還御せらるゝことゝなつた

仁川の天長祝賀
【仁川】來る三十一日天長節は恒例により仁川府民の祝賀會を開催すべく例年の通り開催準備中なるが出席者は會費一圓五十錢を添へ商業會議所へ申込まるべしと當日は寺町小學校講堂を以て會場に宛て裝飾萬端遺憾なく準備する筈なるが更に二十一發の煙花を打揚げて祝意を表する

南浦の本社活寫
【鎭南浦】本社讀者慰安第三回巡回活動寫眞隊は豫定の通り二十四日午後三時の列車で來鎭同日午後七時半より港座にて開演した、豫て待ち設けたる一般讀者は既に定刻前より潮の如く押寄せ來り場內は殆ど身動きさへ出來ない大盛況を呈した、之れより拍手喝采裡に開演總督府の推獎に成る『死の輝き』に移り場內は觀衆に水を打ちたる如く撒々の情目を人に涉り觀衆誘露あつてハンカチを目に當てない者はなかつた、斯くて第一回開演は午後十時半に終り翌日午前九時半より學生諸君の爲めに第二回開演を爲したが矢張り團體敎諭の殉職の場に於いては頑是なき幼心にも同情の淚止めあへず場は女生徒一同が雖泣らず聲を立てゝ泣き出したので場內は一層悽慘の氣が漲つた

仁川倶樂部會
【仁川】仁川倶樂部にては來る二十八日午後六時より十月例會を東洋軒に開き中華民國領事並に大阪商船支店長等の歡迎を催ふすべし（仁川）

古藤大邱銀行支配人
二十三日午前五時ごろ就寢中俄然腦充血に罹り人事不省に陷り急ぎ手當を加へたるが藥石效なく遂に同日午後五時逝去した行年五十三（大邱）

文化住宅圖案展覽會
日時	十月廿九日自午前九時至午後七時
場所	仁川寺町小學校講堂
講演	同夜七時より
主催	朝鮮建築會
後援	京城日報社仁川支局

第二回讀者慰安巡回活動寫眞
廿七日　午後七時より　義州公會堂
廿八日　午後七時より　安東縣　安東劇場

餘興があつて非常の盛宴であつた

慶北釀造品評褒賞授與式擧行
【大邱】慶尚北道釀造品評會及び副產物品評會は各出品物の優劣良否を審査の結果、二十四日午前十一時より慶尚北道廳に於て之が賞狀授與式を執行した出席者は齋川道知事、品評會長松井大邱府尹を始め審査員及び出品者、大邱主なる官民等百餘名にて頗る盛大に執り行ふたが式終了後直に立食の饗應があつて盛會裡に散會したが更に當日午後六時より料亭大和に於て品評會の關係者及び在邱新聞記者等を招待して宴を張つた

着筏約七千臺
【安東縣】採木公司に付き着筏狀況を聞くに二十二日迄に於ける數は檜材六千八百十五臺闊材七百十一臺に約六千八百臺なるが本年の終りは十一月十日頃なるべし終筏迄には總數七千臺見當に達すべく內本年度は杉松材最も多く約六割は杉松材なり

墓地貸下開始
計畫であると

【安東縣】安東縣領事館共同墓地は曩に工事落成を告げて居たが愈々來る十一月一日より一般希望者に貸下をなすべく貸下料金は一坪に付き一圓二十錢三坪以上は一區劃十二坪にして十二坪以上は一區劃毎に三十坪增しであるが現在の墓地は全部にて約二百五十坪內外なるを以て四區劃以上の希望者の申込みを拒絕する筈にて料金は一回納めなるが申込より一箇月以內に墓碑を建設せざる場合は契約無效となるべく希望者は規則を熟覽の上地方事務所に申込まれたしと

甑二浦の本社活寫
【甑二浦】各地に於て大好評を博しつゝある本社讀者慰安活動寫眞隊は二十二日午後七時半より豫定の通り開演し大入滿員の盛況を呈した開演に先ちて挨拶あり、プログラムの進展に伴ひ滿場の感興を惹き死の輝きを上映するや寂として聲なく滿場の感激は頂點に達し敎諭の悲壯なる最期には鳴咽の聲をも聞くに至り、終りて無邪氣なる滑稽劇で滿場狂喜せんばかりに喜ばして大盛會裡に十一時半閉會した

南鐵工事請負入札
【馬山】南朝鮮鐵道會社に於ては本線基點たる馬山府浦頭より第一區至る第三區の線路工事入札を廿八日南朝鮮鐵道本社に於て執行する由である

沙里院の國民體操
【沙里院】沙里院公立普通學校では本月二十三日より每日午後五時頃迄校庭の構內に國民體操を行ふ事に決定したるが敎師としては體操講習會に出席したる同校職員に於て指導する由

請合藥

百圓

壹週間分　五圓・特十圓

本劑の主藥は治肺劑として最有効と確定せられ歐米各國の大病院は云ふに及ばず我醫科大學病院等に於て賞揭し配劑しつゝあり內務省衛生試驗所の藏封せる治肺特效藥なる事を保證す若し此證言に違へる事を發見せば百圓を呈す

咳を鎭め食慾を進め　熱を去り盜汗を防ぎ　胸を靜め安眠せしむ

はい病　まろく

製劑責任者　東京　大阪　有田音松
發賣元　東京日本橋通四丁目　大阪三休橋北詰　有田ドラッグ

專賣所　京城南大門外　同黄金町電車通　同鐘路十字街　同龍山練兵町
釜山辨天町　大邱　木浦　鎭南浦　咸興本町　忠南太田　全州高砂町　仁川宮町　馬山都町　羅南生駒町　新義州常盤町　群山　平壤　晉州　光州　元山
請合藥に付他の藥店に販賣を許さず
全國到る所の有田ドラッグにて買取あれ

●正しき補血強壯增進劑
栗本醫學博士　齋藤醫學博士　土田醫學博士　增山醫學博士　河西醫學博士　諏訪醫學博士　實驗御推獎

ブルトーゼ

說明書進呈

ブルトーゼは獨逸ストラスブルグ大學教授シユミーデベルヒ氏が甞に哺乳動物の肝臟中より發見せるフエラチンを人工集成したるフエルリアルブミン酸ナトリウムの液狀製劑にして、即ち人體の臟器中に含まるゝ造血要素と同性同態なるが故に吸收同化容易にして、何等副作用なく能く造血機能を亢進し赤血球を增加し、新陳代謝を旺盛ならしめ全身榮養上に强力なる作用を呈す故に本劑服用後は著しく食慾を催進し體重を增加し、精力を旺盛ならしめ、皮膚の色澤を良くす是實に醫學諸大家が擧つて補血强壯劑中の第一位として推擧さるゝ所以なり
本劑は病症に適應すべき各配合劑あり左に列記して服用の便に供す。

◎種類及適應症

單味ブルトーゼ（急性慢性貧血病、虚弱、羸痩、萎黄病、榮養不良、病後恢復期、姙娠榮養、授乳婦等）賣價（小瓶二百五十グラム入 金二圓　大瓶五百グラム入 金三圓）

アルゼンブルトーゼ（神經性疾患、小兒精神病、神經衰弱、糖尿病、黄疸病、皮膚病、貧血性諸炎患等）賣價（小瓶二百五十グラム入 金二圓三十錢　大瓶五百グラム入 金三圓五十錢）

ヨードブルトーゼ（腺病質疾患、小兒發育不全、貧血症、榮養不良、瘰癧、動脈硬化症、佝僂病、黴毒症等）賣價（小瓶二百五十グラム入 金二圓三十錢　大瓶五百グラム入 金三圓五十錢）

キナブルトーゼ（精神過勞症、老後衰弱、重病恢復期、產前產後、授乳婦、ヒステリー、食慾不振、榮養等）賣價（小瓶二百五十グラム入 金二圓三十錢　大瓶五百グラム入 金三圓五十錢）

グアヤコールブルトーゼ（結核性疾患、肺結核、カタール性諸疾患、氣管支炎、喘息、肺炎、肋膜炎、咳嗽、喀痰、百日咳等）賣價（小瓶二百五十グラム入 金三圓五十錢　大瓶五百グラム入 金五圓五十錢）

●本劑は全國各地藥店にて販賣せり　萬一品切の節は直接本舖へ御注文を乞ふ
●販賣者に注意　アルゼンブルトーゼに限り法規に依る賣受證を徵せらるべし

發賣元　本舖　藤澤友吉商店
京城府西小門町　大阪市道修町　東京市本町（高井商店）　名古屋市

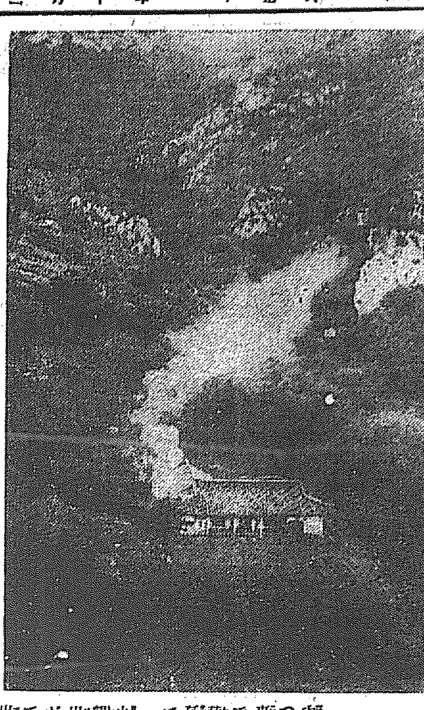
（兒童保健相談所）
イケダ小兒內科病院
京城三越吳服店前（入る南山町一丁目電話 病室三二四番 自宅參參〇四番）
院長　池田季雄
副院長　久保田

內科　小兒科
村上病院
京城府永樂町一丁目（商品陳列館前）電話自宅三五六番 病院六一三番
院長　醫學士　村上龍藏

仁丹

食前に　食後に
仁丹召せば
消化迅速　胃腸は强健

長壽山妙音寺の暮色



黄海金剛の名にし負ふ 長壽山の秋は今正に酣

探勝の二日を塵外に逍遙す

（二）　殘月生

内士驛に着いたのはモウ六時過であつた。豫定によると五時過ぎに着く筈になつてゐたのであるが、上海驛での乘換へや内士驛での馬車の繋ぎ替へに手間取つて丁度一時間ばかり延着した。秋の夕日は既に西に沒して薄明りが空に殘つてゐる。是から一里といふ長壽山中の妙音寺まで燈火なしでは行かれない。内士驛長の親切なお世話で漸く提灯一張は借り出したが、蠟燭は三寸ばかりの殘物が唯一本しかない。提灯から點火しては山にかゝつてから眞暗になる。出來る限りは夕闇の力に縋つて行ける所まで行かねばならぬ。馬車を驅へて六時に六時を過ぎた。點さぬ提灯を提げて僕と一君が案内に立つ。天半君と僕とが之に從つて出發する。鐵山といへば大した事に聞えるがこの邊の山は京都の東山ほどでもない。赤坊を褓にして覗かした位の岡である。之を越えると東西に流るゝ溪河の兩岸に田野が開けて長壽山と平野の間に帶のやうな一區域が現れる。此谷間を縫ぎつて逶迤として行つてゐる小徑を足許危く辿つて遙都に向かつてゐる一枚板の假橋を渡つた。方角も知らぬ大陸の闇に慣れぬ細路を辿くと進んで大分も行つた頃、道の三分二ほども來たらうと思ふ頃に始めて提灯を點した。お蔭で蠟燭から助かつた時のやうな安心した氣持になつた。少しすると漸く山の麓に達した。道が是から急勾配ですと案内が云ふ。暫く眺め遣ると前の樹ちかけた小さな一字が微しく立つてゐる。又少し進んで左手に提灯を差し上げて看ると、何んでも仕舞迄のお堂だつたさうである。是から溪流に沿うた石徑を縫ひに這入つて行くと溪聲は響の如く耳に入る。水谷の騷ぎも頭れにもれてゐる。一陣の微風に二片三片の枯葉が我が顏を掠めて落ちた。方の岡が溪流に迫つて一隅を湛へた處で道は無くなつてゐる。僅に一枚の板が岸に設けてあつて此方に渉むことが出來た。豁然と開へて妙音寺に着いたのは八時前で、一里とは云ひながらも井町ほどしかない道を一時間も費したのは、夜に入りて足の運びのたどたどしかつた爲である。秋の日は既にとつぷり暮れ果てゝ山懷に抱き込まれてゐる山寺は文目もわかぬ闇に鎖されて寂寞の姿を横たへてゐるが、仰げば澄み渡つた大空に星影きらめく天地の間に、時を隔つること僅に數十里、京城を距ること僅に十時間、人界に遠くして生存競爭の修羅場から遁出し、燃料と歷史といふ人類の煩累から脫しては唯無邊なる空間にのみ期して天地も恙なく、靜かに瞑想すると眼中には英雄豪傑もなく古今も無い。試みに之を化して見ても其言の如く微塵を棄てることが出來ぬ。(寫眞は長壽山妙音寺)

婦人講座

婦人の洋裝流行（一）

果して日本服よりも經濟か 徒に新を趁ふ事は考へもの

山田わか

婦人の洋裝が大分流行して參りました、そして此頃洋服を着始めてまだ洋服についての多くの經驗を持たない人達はたちまち洋服の讃美者となつて『不活動的な日本服は全然捨ててしまへ』とさへ云つて居ります。私はあながち洋服がわけないとは申しません、日本服に限るとは決して申しません、其の人々の嗜好により又は境遇によつて其どちらでも宜しいと思つて居ります。つまり洋服を着て見たいとか、又は自分の境遇が日本服よりは洋服の方が都合がよいと云ふならば、洋服を着るのは結構なことです。色の配合なども日本服より自由であり、又外出着として確に日本服よりも洋服の方が優れた點があります。けれども、洋服についての多くの經驗を有たない、安價な洋服讃美者が、むやみに洋服の効能を並べ立てゝ經濟の點から、又便利の點から、或は又日本服より洋服の方が手數が省けると云ふ理由から洋服を奬勵される時に此處に一の觀なきを得ないのであります。洋服の讃美者が殆ど異口同音に云つて居ることは『洋服ならば一通り揃へて置けばそれでなんにもいらないが、日本服だと幾枚も幾組も揃へて置かなければならないから不經濟だ。一年に一度か二年に一度位しか着もしない着物を入れた箪笥を並べて置いて、毎年蟲干などゝ云ふ餘計な手數をかけなければならない、實に日本服は厄介だ』と云ふのでありますが私は其處に一つの錯誤があることを認めます。成程、滅多に着もしない着物を幾枚も幾組も入れた箪笥をならべて置く、それは日本服其のものが惡いのでなく、澤山持つて居ることが惡いので、日本服だから箪笥を幾棹もならべて置かなければならないと云ふ理由が何處にもありません。必要以外の着物を作つて、しまつて置く必要は少しもありませんが、併しその季節の時候に適した衣物は必要です。暑い時には暑い時に、寒い時には寒い時に、心持よく着たいと思へば春夏秋冬——夏冬でいゝでせう！——春と秋は同じもので濟みますから夏冬の必要な着物が必要になります。して見ると洋服讃美者が云ふやうに洋服も一着ではすまされないとになります

池は何等危險なく支那人部落にも患者の發生したる形跡は更になく尚貯水池の水は濾水して居るが現在の水道は貯水池下の井戸に湧出する水を貯水池に送りて給水する有樣で危險はない、又守備隊は自ら貯水池を監視し今日の如き市民の日常必需品たる水道に虎疫菌が混入されては非常に危險であると云ふので夜間嚴重に監視して居る夫れで水道は絶對に危險はないが時節柄今日の如き場合は假令水道の水にせよ生水を飲用せぬ樣一般に注意は肝要であると當事者は語つて居た(安東電報)

石原純博士 帝大に復職か

相對性原理で知られ歌人阿佐緒女史との戀愛で有名な石原純博士は帝大に復職するとの噂がある(東京電報)

婦人有權者 英國に八百萬人

【倫敦二十四日發電】今回の總選擧に於ける婦人有權者は八百萬人である。

醫專解剖祭

京城醫專では二十八日午後三時から大和町三丁目博文寺に於て解剖祭を執行する由

蒐つた古今の珍什

短册色紙展覽會の準備は整つた 蓋開けは明廿八日!! 出品總數は二千點を超えてゐる

我朝鮮としては曾て殆ど見ることのできなかつた企て。文藝と美術の兩方面に亘る最も意義ある催しであるべき短歌、俳句、川柳、繪畫の短冊色紙展覽は果然あらゆる方面から殺到して本社に集つた出品者側に於いても選りに選つて珍稀な逸品、傑作した作品を搬入して來られ、其の數驚くなかれ、二千二百十八點を數ふるに達つた。と同時に努力の勞に報いられるポトナム、松の實、潮向、熊野、川柳の各社同人の諸氏は寢食を忘れて之が陳列作業の任にあたつた結果、漸くその總ての準備を終り愈々豫定の來る二十八日を以てその蓋開けを行ふこととなつた。

朝鮮各地は元より東京、大阪、足利等よりの出品中には鎌倉時代、足利時代、降つては德川時代に於ける名ある人々の遺せしもの尠くなく實に天下の珍寶ともすべき藝術品のある一方、現代の歌人、俳人、川柳及び畫家の勞作または隱れたる手腕家の作品も相當の數に達してゐる。左に分類してあるのは右の中特に主なるものゝみであるが、之に見るも各出品者が秘藏品提供するに躊躇しなかつたが爲に、我社趣旨の催しに對する前記四社の斡旋が徒勞に歸しなかつたことを想像できようと思ふ。

和歌 ▲故人の部　源頼朝、同實朝、西行法師、大江千里、蒲生氏鄕、白河樂翁、青蓮院宮、聖護院宮、蜷川新左衛門、毛利輝元、宗祇法師、姉小路大納言、西園寺大納言、中山中納言、日野中納言、岩倉具家卿、綾小路俊量、冷泉爲村、落合直文、池邊義象、小野通女

▲現代人の部　佐々木信綱、尾上柴舟、與謝野晶子、北原白秋、若山牧水、土岐哀果、菊池寛、柳原白蓮

俳句 故人の部　谷口蕪村、寶井其角、大石良雄、加賀千代女、毛利元就、小早川隆景、尾崎紅葉、夏目漱石、吉野左衞門

▲現代人の部　大谷句佛上人、内藤鳴雪、高濱虛子、河東碧梧桐、臼田亞浪、野田大塊、嚴谷小波、花本聽秋、服部耕石、村上鬼城、沼波瓊音、小笠原長生、鳳石眼、長谷川零餘子、武田鶯塘、松瀨青々、渡邊水巴

川柳 ▲現代人の部　井上劍花坊、矢野きん坊、近藤飴ン坊、佐藤紅緑、川上三太郎、井上信子、坂井久良岐、岸本水府、森井荷十、河野綠蔭、村上餘念坊、大島濤明、尾山夜半秋、田中五呂八其他

繪畫 ▲故人の部　勝川法眼、狩野山晩翠、竹久夢二、田原秀湖、三蹟、戸厳倶、平田某門、島村成赫

斯くして數百點の逸品と現代大家の傑作とを同時に展觀することは一般識者の參考に資し且又藝界及び美術界に寄る一種の福音と云ふべきである。會期は二十八日と二十九日の兩日間にて午前十時から午後六時迄で何人でも無料で觀覽できることになつてゐる。中には秘藏品も數多く陳列してあるから希望者は一覽を希望する。

短册色紙展覽會

日時　十月廿八日(土曜)廿九日(日曜)　自午前十時至午後六時

會場　京城日報社樓上來青閣

和歌、俳句、川柳、繪畫　(新古秘藏品、讓渡又は交換希望品多數陳列)

參觀隨意

主催　京城日報社

妻戀ふ鹿の鳴く音

音樂の基調たる十二律に叶つてる 春を解せぬ牡鹿は聲も惡い

鳥や獸の鳴き聲に音樂になつてゐるものが多い、殊に鳥の鳴き聲は夫れ自身が音樂である。學說によると人の音樂と云ふものが出たのも、鳥や獸の聲を眞似たもので、原人は鳥獸から學び、飛行機の發明も鳥から學び、凡て人の智慧は鳥獸から教へてもらつたと同樣に、もと〳〵鳥の聲から學んだのに外ならぬ。

動物と音樂 とは到に深い關係の中にある。鹿の鳴く音でもやはりさうである。其鳴く音は音樂の調べである十二律に叶つてゐる。嘗て鹿の鳴く音を研究した人の話によると、鹿の聲の良いのは自由に肉を食ひ自然の手に飼はれてゐる野の鹿に限るとの事だ。人間の飼つてゐる鹿の聲は濁音が強くて良い聲が出ぬさうである。鹿の鳴く一般に良い時期は、所によつて多少違ふが紅葉の色鮮かな頃で、秋十月の末つ方であるらしい。

時候に關係 があるやうに鹿は秋十月の末つ方の日ならば、いつでもよいと云ふのではないさうで、鳴く時間は午後の十二時半頃から朝の六時迄が、一番よいのださうである。その聲の響きは實にも云はれぬ味があると云ふ、又鹿の聲は若い鹿でなければ出ぬ、三歲以上のものでなくてはならぬ。

その牡鹿も 一歳のときは角が一本出てゐるだけで鳴く聲も弱く一聲しか出さない、二歳になると角に一つ枝が出るし、三歳になると角は三枝になり鳴き聲も三聲續けて鳴くやうになる、もう一年經ると角は四本になる、然し牡鹿でも三歲までは聲が若くてまだ好いとは云はれぬ、處が四歲以上になると聲も續くやうになり、その聲も十二律にかなつて來るので、そこに自然の樂の音の興趣と妙味が、湧き出でゝどう人間の心の琴線にふれるのである。

安東の虎疫 益々猖獗

患者百廿名

安東のコレラは其後依然として猖獗を極へず毎日七八名の患者發生し當局も非常に困惑して居るが二十五日までの患者總計は支那側百二十一名に達し新市街管内五名で昨今猛氣の爲め一層増加の傾向である、新市街は久しく患者發生せざりしも二十五日に至り市内二番通り八丁目見番路上に倒れたるを發見支那側に引渡したが正コレラと決定し直に大消毒を行ひ交通を遮斷したが右患者は支那街方面より新市街に侵入し來た形跡あり又我夫なる者と判明した而して百二十餘名の内殆ど患者は死亡して生存者は極僅少であるが一般に警戒注意すべきである

水道は安全 當事者の聲明

安東のコレラは其後依然猖獗を極め居れるを以て水源池上流の部落にも患者發生し水源池の水は非常に危險に…

陸軍戰法の革新〔下〕

戰鬪單位は中隊から分隊に 兵卒の獨斷專行と義務觀念

今日の防禦者は單一の戰線に多數の小銃を排列して火力の効果を期待する事は能きぬ蓋し工事を利用する場合でも攻撃者の歩兵砲火の威力は頑強な兵力の配備を許さないばかりでなく鋭利なる自動火器の特性を遺憾なく發揮せんとせば敵を側射又は縱射する爲めに縱深横陣に疎散配備するを適當とし加ふるに重要の陣地物を繞らし陣地の一部が敵手に落つるも尚斷然として戰鬪を持續し得るを要する、從つて陣地の構成も頗る複雜となり往時の如く一の火線と後方部隊の爲め若干の掩護を設ふるに過ぎず火線の一ヶ所に生ずる小破綻が全線の動搖を惹起するが如き時代とは比べものにならぬ、殊に陣地戰に於ては陣地の主要部は『ベトン』等の構築工物を以て掩護せられ砲彈の貫入を阻止したる永久築城と其の素質に於て大差なきものが出來る事を以て陣地の設備を空中及地上の偵察に對して完全に遮蔽し或は敵を欺瞞せんが爲めに各種の手段が遺憾なく實施されるのである

最も單一なる情況の下に於ても歩兵の戰鬪法が多岐複雜を極めるかは之れに由つても推知されるが、而も之に加ふるに人員の殺傷を避けて攻撃に於ては殲滅的なる歩兵砲火は勿論必要であるが、最も肝要なる陣地に對する攻撃は中から的攻撃をも遂ぐるの實力を要し情況を達するに最も疎散にする必要がある、中隊長の命令を以て全中隊の進退を律することは不可能である、從つて歩兵戰鬪の實行の單位は下級部隊に移り今日に在つては下士を長とする分隊を以て重要なる單位となすの趨勢にあるのみならず分隊內にある各兵卒にも獨斷活動を頻繁に要求する事になつた。

戰鬪に於て砲兵の任務は時期に應じ歩兵の前進に最も危害を及ぼすものを破碎し以て歩兵の進路を開き歩兵の前進を直接支援するの根本原則は散兵戰術時代と新戰法時代とを通じて變革はないが新戰法にあつては砲兵威力の増進を倍々緊要とする他歩兵が遺憾なく砲兵の成果を利用するの程度非常に向上し之れが爲め砲兵は遊動射撃、彈幕射撃と稱する射法を用ひ歩兵をして之れに密接して推進させ歩兵の前進を擁護して進せしむる方法を採り陣地戰に於ては最も堅固な構工物の防禦及遠大なる地に於ける敵の企圖妨害の爲め十粁以上約五十粁に達する威力絶大射程長遠なる大、中口徑砲を必要とし之等の火砲は平射的の加農と曲射的の榴彈砲若くは臼砲等に類別され併用して或は毒瓦斯の機能に於て多種多樣のものを作用し所用彈藥に就ても殺傷を主とする所用彈藥は毒瓦斯彈等を用ひ總合威力の完全を期せなければならぬ。

而して新戰法に因る戰鬪離脱の諸點は指揮を困難ならしむるを以て通信連絡の敏活を以て之れを補はなければならぬ、加ふるに各種の戰鬪を執るに當り連絡の爲めに通信網の成否は戰鬪の運命に關する問題となつた從つて通信連絡の技術的方法も著しく發達し砲兵觀測の爲めに電信、無線電信、地中電信、光電信、傳書鳩、犬、手旗、信號等を用ひ且航空機を利用して居る。

現代科學の全能を利用して居る者の如く新兵器の出現新戰法の採用と共に歩兵の武裝も亦之れに適する如く改良せられ往時は小銃の一本で間に合ふものとせず今日に於ては小隊の基礎單位とせらるゝも必要なる職能を帶ばしめ、小隊分隊毎に小銃、手榴彈、擲彈筒、機關銃等を保有せしめ各種の兵器を混用して編成するものである、即ち佛軍の如きは一の輕機關銃を核心として之れに必要なる各種補助兵器を加へ以て火線突撃の兩要素を備へた最小戰鬪としての分隊を戰鬪群と稱し下士を指揮者とさせて居る、我軍に在つては輕機關銃分隊と小銃分隊とに分ち此の兩者を併有する小隊をして佛軍の戰鬪群と同樣の性能を帶ばしめて居る之れを要するに戰鬪實行の單位は下士の指揮する小部隊に移りつゝあるのみならず各兵卒の責務は昔日の散兵戰法に比し頗る重大となり兵卒の義務觀念に基く獨斷專行と成熟する武技を要する事となつた以上は歩兵の新戰法であるが此の砲兵を始め各兵科の戰法も亦著しい變化を生じて居る事は明かである今回の富士野の攻防演習は其の規模小なりと雖も最新戰法と最新科學の實際なるを以て毎年施行され來つた大演習以上の重要を要し又それ丈け陸軍に取つて重要な演習であつた事を附記する(終＝東京支局一記者)

鮮人避難民は 間島に專ら生せん

間島に轉住せむとするものゝやうである(廿五日午後五時廿分發電)

浦鹽から敦賀に上陸した

三三の男子四名は神戸より上京したとの急電に接し警戒の爲二十五日中警戒して居たが…

空に飛機亂舞し 地に砲聲轟く

第二十師團演習に參加すべき各部隊は既に…步兵第七十九聯隊は…

三時二十分聯隊本部及第一…大隊六時五分に…八時に…

龍山七九聯隊

演藝案内

黄金館　松竹キネマ直營　毎日晝夜　○文部省推奬映畫　○竹特選映畫　一、音樂　二、○大正社提供の特選映畫　○ヴアイタグラフ映畫　トムテリス氏監督　紅涙の寶刀　全七巻　アリス、ヂヨイス嬢　パーシー、マーモン氏共演　アンリツト、プラツド社大連續活劇　第四回　青狐　四巻上場　松竹キネマ蒲田作品　悲劇　惡魔の鞭　全七巻

大正館　松竹キネマ株式會社朝鮮總特約店　當る十月廿五日より全部差替へ　○パラマウント・ニユース第五　○騷動八百八狸　全七巻　○實寫　○名勝舊蹟　○正喜劇　望みの指環　萬尺　○新派悲劇　姉妹　全五巻

京龍座　龍山電話三二一番　十月廿五日初日特別大興行　世界的大奇魔術　松旭齋天露嬢

黄金館　當二十七日封切　△文部省推選映畫　紅育市俄古　悲劇　惡魔の鞭　紅涙の寶刀　七巻　青狐　四巻

喜樂館　京城本町七丁目　日活直營　水道人夫　全五巻　ロツキーのルス　堀部安兵衛　全七巻

浪花館　電話二六〇　明治町　人情落語　橋の圓

帝國館　初日滿員　大當り三大映畫　正喜劇　望の指環　舊劇　八百八狸　新派悲劇　松竹キネマ秘藏品　姉妹　五巻　元和三勇士　五巻　明ぼの日記　六巻

大正館　姉妹

淋病梅毒肺病肋膜　已野藥房

法人登記公告　安城出張所

京日案内

鯨尾羽毛　專業問屋　平井成一商店

新築　簡易旅花舘屋

外務　讓店　恩給　電話　福神　電話　電話　古本　店員募集　外勤

わた專商　ふとん綿きもの綿は原産地たる株式會社青島洋行製綿今や世人に知られつゝあり　多少に不拘御用命御使用を乞ふ尚地方の御注文は叮嚀迅速　朝鮮一手販賣　臨津屋卸小賣部　長野山　電話四五七番

電波療器 ラヂオレーヤー

日常の輕微なる疾患より難病の頑固なる重患をも快癒する

ラヂオレーヤーの不可思議なる靈能力は日常の輕微なる疾患より醫師の見放した難症をも容易に快癒するの偉力がある、本器は米國の偉人エヂソン氏の發明に係り強力なる電波を發生すると共に紫光線とオゾーンとを同時に人體に導入して、新陳代謝を旺盛にし、血行を良くし、細胞を刺戟する。本器を一度應用すれば慢性なる疼痛も忘るゝ事を得、肺、肋膜、胃腸等の内臟の機能を調整し、神經衰弱、不眠、頭痛等の神經系疾患を治癒し、其他病氣と名の付くものに對しては悉く驚くべき奏効がある。從來の藥物療法に飽き足らざる人は速かに本療法を試みられよ。貴下は即時はがき一枚を投じて注文書を發せられよ。貴下の居宅で代金引換の出來る小包便で即刻發送致します。

金三十五圓　(説明書贈呈)

發賣元　東京市本郷一丁目九番地　ラヂオレーヤー商會　電話小石川特長六二四・五八三二番　振替口座東京五二四七番

京城本町二　パイン商工株式會社

同　鎌田器械店

龍山元町一ノ二八　三須商會

呼吸器散

特長

呼吸器散ハ優秀ナル袪痰、鎮咳ノ特效藥ニシテ如何程頑固ノ痼疾ヲモ速カニ治癒シ呼吸器ヲ健全ニスル理想的良藥也

主效

□かぜのたんせき　□喘息のたんせき　□小兒の百日ぜき　□肺病のたんせき　□のんどはれ痛み　□背腰かれ出てず

其他呼吸器病一般に用ひてタンを除り、セキを鎭め、夜間安眠するの特效あり

本舖　丹平商會藥房

資本金　積立金

株式會社　十八銀行京城支店　繰越金百八拾六萬圓　六百五拾萬圓

同　新龍山支店

同　龍山出張所

銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

金牌受領

東寧縣三岔口形勢を觀望す

本月十四、五日に亘り東寧縣三岔口に襲來した露國人及び朝鮮人の數二千餘に達し其の内の鮮人は一時同地に在つて形勢を觀望し又は去る二十日頃から[illegible]

赤色露人行方を晦ます
神戸より上京して不明となる

[illegible]露國將校(二十五六)の露人[illegible]目下其の行方を探索中(東京電報)

李堈公殿下 四度目の御東上
來月十日京城御出發

朝鮮軍司令部附陸軍中將李堈公殿下は來月十日京城御發御附武官魚潭氏を伴はせられ御上京あらせらるゝが大正六年の昭憲皇太后三年祭の折東京に御滯在ありしと今回四度目の御東上にて下關御上陸後は直に四國に擧行の大演習を御觀戰ありそれより東京に入らせられ十數日御滯在の筈で御宿所は未だ決定せざるも其の間に兩陛下、攝政殿下に御對面あり尙學習院御入學中の李鍝公、李勇吉の兩殿下と御親子の御對面あるべしと(東京電報)

近く東上遊ばさるゝ 李堈公殿下

御親戚として始めて 梨本宮と御對面
來月十日東上さるゝ李堈公 主な御用向は御觀戰

別項=李堈公殿下の御東上について上林李王職次官は語る『王公族の朝鮮外御旅行にはすべて勅許を要するので目下勅許奏請中である、勅許があれば來る十一月十日御出發の豫定であるが主なる御用向は近々四國に於て擧行さるゝ陸軍大演習御陪觀の爲めである、東京には全くその序を以てお出でになるので實は明春御擧行になる攝政宮殿下の御婚儀には何うせ御參列になる事でもありソレまで延ばさうかと云ふ話もあつたが東京には久しくお出になつた事がないのみならず二人のお子樣が御遊學中の事でもあるから親しくその御模樣等も見たいと云ふ御希望もあつて愈々御東上と決したのである、殿下には大正元年の御大葬及び翌二年の御一年祭に參列された外五年には天機奉伺の爲め御東上になつたから今度で實に四度目の御東上である隨員は御附武官魚潭少將、末松(多美彦)事務官外二三名であるが往復三週間の御豫定だから東京御滯在は一週間位のものであらう御滯京中は天機並に御機嫌を奉伺せらるゝは勿論梨本宮同妃殿下にも御親戚として始めて御對面になる筈であるが今回の御旅行は大演習陪觀が主な目的であつて御東上は全く附りに過ぎない』云々

李王視賀
天長佳節の當日 總督官邸へ御成

李王殿下には天長節の當日午前九時昌德宮御出門、總督官邸に御成りあり總督に御面謁祝賀奏上の上御退出相成る筈、尙同日李王職長官は午前九時より部內高等官一同の賀詞を受ける事になつて居る

龍山官邸 總督招宴
天長の佳節に

來る三十一日天長節祝日の佳辰に齋藤總督は慣例に依り龍山官邸に府內官民二千三百餘名を招待して祝賀の意を表し一大園遊會を開催し例年の通り邸內に各種の模擬店を設へ且[illegible]其他數種の餘興等を催し共に興に供し樂ゆる御代を壽ぎて清き一日を送る筈である

學制頒布 五十年祝賀
三十日に擧行

學制頒布五十周年記念祝賀の意を表する總督府內の主なる教育關係者の發起により來る三十日午後一時から景福宮景武臺前(雨天の際は南大門小學校)で祝賀會を開催する筈であるが當日は式に次で種々の運動餘技や餘興もあると

傷づいて國を追はれたる 將士同情に救はる
元山有志の手厚き看護と 婦人會の慰問に落人は淚に咽ぶ

ポセットから敗殘の白軍將卒及び其の家族四百九十八人が僅に四百餘噸の小船トングス號に依りて命からぐ元山に逃れ來り、中には二百に近き傷病兵あり光景酸鼻を極め之が救護は人道上の問題なる事は旣報の通りであるが、果然元山各方面に於ける義俠心の奮起する處となり、人道上に人種の差別無く人の情に國境無き古來仁俠の氣に富む我大和民族の最も美しき習性の發露を見るに至つた、即ち元山私設倉庫を借りて臨時救護所に充て收容し、二十五日午後は元山醫師會總出の下に治療に從事し今後彼等の滯在中每日午後交代に治療の任に當たる事になつた、主義の爲め最後まで奮戰して身に名譽の負傷を負ひながら敗軍の悲しさは負傷後ろくく治療を受くる術も無く呻吟しつゝありしものが圖らずも他國に逃れ來て其國人のため思はざる手厚き看護を受くる、彼等の感激はドンナであらう、見よ日に焦け髯の延び切つて鬼の如くに見ゆる彼等の双眼から溢るゝ感激の淚の潸然たるを。一面又凡ゆる機關を網羅した有志は同日午後二時府廳樓上に相會して救濟策に付いて協議したが、一同の義捐は溢るゝ如き同情は淸き醵金となつて表はれ、旣に食盡きて瀕死の狀態にある彼等に對してパン、砂糖其他の生活必需品を供給する事となり即時實行に着手した。婦人會亦雄々しくも起つて不幸なる彼等の慰問及び生活品の寄贈に奔走するなど、赤十字社及愛國婦人會の活動開始と相俟つて美はしき活動を續けて居る。此の元山市民の熱烈なる好意に對する彼等の感激は想像の外で主將ボールオズスキー少將は『只々淚の外は無い』とて見る人每に熱き握手を捧げて居る。此の元山市民の人道的行爲は啻に白軍の敗殘者なるが故に非ず若し假に赤軍であつたとしても亦必ず同樣の擧を見るであるべく此に近時の美談として中外に誇るに足ると共に尊むべき記錄として長く元山史を飾る美擧であらねばならぬ。因に一同は目下東方面に向つて旅費到達次第哈爾賓に向つて去ると言つて居る。

僅か百餘噸の小汽船に 小芋を洗ふ如く重合つて
老若男女二百餘名元山に避難

ボールオズスキー少將以下四百九十名の避難民が赤十字社、愛國婦人會及び元山市民の好意に依つて僅に露命をつなぎ落人の慘めさをしみぐく見せて居る折柄又々二十五日午後四時一隻の避難船が入港して來た。直に船を訪うて見れば同船はスメルチヤック號と云ひ大佐パルミン以下老若男女二百十六人と言ふ多數が乘り込んで居る、其の中百二十九名が男子で三十六人が女子五十一人が子供である。僅に百三十五噸と言ふ小船に二百十六人の多數が乘り込んだ事とて十二分に足腰を延ばす餘裕も無く加ふるに二十四日夕方からの時化に揺られて來るので、船中は恰で芋の子を洗つた如く押し重なつて居り、殊に男子百二十九名の中八十四名までは負傷者で光景の慘澹言語に絕して居る。パルミン大佐及び船長元海軍大佐ペデル交々語る處に依ればば避難軍人はポセットに於いてヂトリックス將軍の布達に依り武裝を解除し他の乘組者と共に二十四日午前四時ポセットを出帆一路元山に逃げ來つたので、何れも最後まで戰線に奮鬪し負傷者は主として十八日スパスカヤの戰鬪に於いて傷付いたものである。ポセットにはヂトリックス將軍初め白軍の敗兵及其の家族約一萬程集合して居り尙幾分は滿洲方面に向つて避難するかも知れぬが大部分は陸路何れかへ避難するであらうと考へて居る。吾々は當地迄で逃れ來つたのが漸くの事で、船中には旣に一砂の石炭も亦一滴の水も一片のパンも無い樣に生死の岐路に立つて居る、よろしく保護を願ひ度いとの事で其の窮狀も絕頂に達して居る樣で取敢ずパンと水とは別項元山在留の人々の同情に依りトングス號避難者同樣供給する事になつたが、尙ろくく治療をも受け得て居ない憐れむべき負傷者に對しても何れ早速同樣の處置を採る事になるであらうが何れにしても慘澹の極みである。因に此の一行の避難目的地も哈爾賓及び奉天の由である(元山特電)

緊急會議の結果 旅費あるものは通過さす
浦鹽避難民の所置 兩婦人會活動す

突如元山港に入港した露國敗殘艦隊汽船トングス號乘組一行の悲慘な狀況は昨紙所報の通りであるが折柄元山を通過せる有吉政務總監も甚く之に同情し[illegible]緊急會議を開催した其の結果旅費を所持して居る者は全部通過させることにしたので直に二十六日朝の三十六名が京城を通過して哈爾賓に向つた元山には參謀大佐以下負傷兵及び旅費なき者などが殘つて居る。ボロヂノスキー少將は二十六日朝京城通過哈爾賓に至り同地に於て金策を講じ金の出來次第殘部を迎へに來る筈になつて居るので元山では負傷兵を上陸せしめて赤十字社朝鮮本部の斡旋でいとも懇切に治療を施しつゝある尙二十六日朝以後京城通過の避難民に對しては南大門驛に於て愛國婦人會及び赤十字社篤志看護婦人會員等夥しく茶菓の接待をなし慰問接待に活動を開始した元山居殘りの分に對しても愛國婦人會朝鮮本部から手拭やキヤラメル及び仁丹等を送つて慰問することにした。

京城著名會社商店と マーク合せ懸賞募集

商標(マーク)は其會社、商店、商品の何れを問はず之れを代表すべき大切なものでありますそれでお互にマークを尊重し愛護し、記憶すると云ふ事は必要であります、此意味に於て先づ京龍間の會社、銀行、商店、組合の主なるものゝ中より商標の組合せ第一回懸賞募集を致します

詳細は天長節祝日十月三十一日の紙上に發表

京城日報社

歸東を明言した 黒木少佐突然北行す
太田副領事貴志少將も前後して
セミヨノフ將軍の密使奉天行の噂
局面は何う展開する?

火の樣な狂風の浦鹽から、時の參謀本部も尻を捲つた快漢黒木少佐が二十四日入城、直ちに朝鮮ホテルに投宿したことは旣報の如くであるが、少佐はホテル投宿中往訪の記者に對して今度の浦鹽渡航の目的に就いて左の如く語つた『自分が參謀本部の命令で浦鹽に渡り武器問題や金塊問題に關係でも有る樣に傳へられて居るが之れは全く誤報で僕が今度參謀本部の命を受けやう筈も無く、金塊事件の如きもセミヨノフ將軍の心意氣を察する僕が手を出す樣なことはしない。けちの濟いた金が欲しいものかね。然し此の金塊が最も適法に下されて此の憐れな落人達(露國避難民を指す)の救濟に資せられるならば吾々も是を喜んで受けるかも知れない。然し僕の目的はそんな事では無かつた唯個人として、浦鹽に殘つた艦友の處置を濟けることや、撤兵前の狀況を知つて置き度かつたのや、例の金塊受渡運動者中にセミヨノフ將軍の意志も知らずに騷いでゐる者部下も混つて居るので其等の人々に將軍の眞意を傳へ度いと云ふ此三つの目的を以て行つて來たのである出先の軍人が例の金塊に代つて白軍に支給したと云ふ話も有るがそれは事實無根だ、僕が證明し得る。又原少佐が個人で武器を白軍に渡したと云ふ問題は大變新聞等で騷いでゐるが、君一寸考へてくれ給へ、自分等と共に血を流して得た武器だ相手が困つてゐるのを見て渡してやり度くも成るだらうぢやないか。又金塊問題にまつはつて種々なる問題も有り又自分の立場を明かにする爲めには話し度いことも澤山有るが、大きく日本と云ふ立場から又セミヨノフ將軍一味の利益から考へても今自分は口を開くことを控へなければならぬ。實に僕は心苦しい、知つてゐる事も語ることの出來ぬ時期に在るのだ』と少佐は常に誠意を示しながら語つた、猶少佐は二十五日午後七時二十分の南行列車で歸東のことを明言した。處が其夜は見送りの記者等を待ちぼけさせて少佐の姿は見えなかつた。處が翌二十六日午前十時朝鮮ホテルの玄關を離れた自動車の中に黒ラクダのオーバの襟を立てゝ顏を埋めた黒木少佐の姿が見られた。同ホテルに宿泊中だつたニコリスク副領事太田秀夫氏は二十五日の夜北行し二十六日の朝は奉天特務機關の貴志少將も北上通過した。問題はそればかりでは無い、天津に居るセミヨノフ將軍の代理者が奉天に向つたとの話も有りホテルのボーイも『黒木さんは今朝十時北行されました。切符も多分奉天行きだつたらうと思ひます。』と語つてゐる。黒行きや風向きばかりを見て日和を占ふ船乘りで無くても此の黒行きでは一つ占なつてみたくなる役者は奉天に集まつた。さて何う言ふ芝居が始まるのだらう。

擾亂の都浦鹽へ 夫を慕ひゆく露國美人
最近の擾亂に夫を氣遣ふ中 夫から子供を連れて來いと便り

擾亂の浦鹽からは限りない生の執著にとらはれ唯當もなく住み馴れた祖國を後に漂浪の旅に上る避難する折柄又茲には其反對に身は京城にありながら[illegible]夫の安否を氣遣ひ浦鹽行きの旅券を願出たアンナ、カブスペンと云ふ美しい露西亞美人がある。龍山大島町三二の日本家に居る露國美人アンナで彼れの父は元露國騎兵大佐として[illegible]軍人で妻との間の一人娘でモスコーに居たが一九一七年モスコーで赤軍の手に捕はれ母と共に極東に逃れたが母も遂に途中不歸の客となつて淋しく浦鹽で暮して居る中、同地で日本人[illegible]と云ふ者と結婚し家庭となり二人の中に當年五ツになる子供さへある程が二人は本年夏頃龍山に一家を擧へて夫は再び浦鹽にアンナと子供を殘して振り立つたが最近の擾亂に夫の身を想ひ暮す中、夫から無事だ子供を連れて來いとの便りに接したアンナは火が降る浦鹽も厭はず浦鹽行きを決心して二十六日龍山署に旅行券下附方を出願した、二人が揃ふ日は平和な樂い日となるであらう

赤白兩軍の交戰を慮り 羅南聯隊出動す
軍司令部は否認す 師團が適宜の處置を採つたのだらう

咸興電報に據れば露支國境附近にて今や赤白兩軍交戰中にして其餘波鮮內に及ぶを慮かり二十六日未明羅南步兵第二十六聯隊の一ケ中隊は早朝咸興に出動し日支國境の警戒に任じた(羅南電報)

右に就て朝鮮軍司令部は第七十六聯隊に對して出動命令を發した事はない、而し目下第十九師團は他師團よりも退營期が早いので去る二十四日本年度の退營を行つたので人員不足の爲め咸興に補充として派遣したもので第十九師團に於て適宜の處置を執つたのであらう。云々

國粹會の同情
露國避難民に

戰亂慘めく浦鹽から身を以て避難した露國人は續々と元山を經由して入城の上長谷合南賓方面へ落ち延びて居るが最近當地に於て發會式を擧げた國粹會朝鮮本部では此の憐れな露西亞避難民に同情の餘り二十五日より代表者數名が南大門驛で一同に對し洋手拭一筋と饅頭若干とを與へ稀く々の面倒を見て居るが孰れも感激の淚に咽んで居たと

秋季機動演習前記
忠南[illegible]曠野に擧行さる

[illegible]隊は大田に集中してゐる昨二十五日[illegible]第四十旅團司令部は鳥致院[illegible]長以下將校[illegible]信號は相續いで鳥致院を通過淸州に[illegible]

淸州に入る

[illegible]十六日午後一時鳥致院[illegible]共に自動車にて淸州に向つた[illegible]

通信競技大會
全鮮代表選手の 朝鮮通信界の精銳 一堂に會して覇を爭ふ

遞信局主催の全鮮選手通信競技會は旣報の通り愈來る二十九日京城郵便局構內に於て開催するので當局者は其準備に多忙を極めて居るが此競技會に出場する選手は過般來京城外十三道府の全鮮主要地郵便局で開かれた地方通信競技會で優秀の技倆を示した人達ばかりで朝鮮に於ける通信現業從事員中の精銳であるから定めし目覺ましいことであらうと期待されてゐる當選手の氏名及選出局名は左の通りである

▲郵便選手=▲京城局神田英夫▲仁川局坂本好雄▲大田局大內田忠吉▲群山局堀內吾郞▲釜山局坂井宗作▲馬山局鄭永寬▲大邱局新免基▲木浦局成田爾吉▲元山局稻本光藏▲咸興局豐川吉之助▲平壤局菊田敏吉▲鎭南浦局有本勘治▲新義州局阪山剛▲淸津局森憲一▲京城鐵道局高木留吉▲電信普通選手=▲京城局鈴木喜久保▲仁川局長谷恒三▲大田局杉山喜子太▲群山局會澤信夫▲釜山局大塚憲一▲馬山局赤澤仁三郞▲大邱局岡部小一郞▲木浦局神田健三▲元山局村岡嘉一▲咸興局唐甚俊▲平壤局中野秀雄▲鎭南浦局原山貞一▲新義州局加納茂一▲淸津局工藤英雄▲電信鐵孔選手=▲京城局志賀猛雄▲釜山局上村八重次▲元山局尾原敏▲淸津局柳原四方吉

輓子の服裝を取締る
本町署で營業者に注意

本町署では去る二十三日より人力車の秋季檢査を構內で施行して居るが成績は槪して良好であるが輓子の服裝、車體等に就き今野署長は二十六日午後一時より營業者輓子を集合して左の如き注意を與へた

一、各營業者一切を番頭又は帳場に一任し置く爲輓子其他監督行屆かず警察署に屆出づべき事項も怠り輓子の服裝其他の事項に就て注意を欠く處れあり今後は嚴重直接に監督し違反なき樣注意する事

一、輓子の雇入又は解雇の場合其屆出を怠り無免許にて營業なし處分せらるゝ者多々あり且解雇の場合其屆出を怠る爲め警察署の台帳と現在と拾名以上も相違するものあり將來充分注意する事

一、輓子の法被の背に免許證の番號と同一番號(個一寸三分竪三寸)の輪廓內に適當なる太さの文字を記載し附すべき規定なるに不拘規定の番號を附し居る者殆んどなし將來は營業者に於て充分監督し違反なき樣注意する事

一、人力車の轅木は車體同樣の塗なるに禿げたるものあり此際全部塗替する事

一、輓子の法被股引等破損し甚だ不體裁のものあり新調する事

一、輓子が營業者の意に反し不當賃金を要求し(例へば五十錢取るべき距離に八十錢を取り三十錢頭をはねる等)たる時は直に警察署に申告し即時解雇すること

一、鮮人輓子が深更に至り新町附近で泥醉の上亂暴を働くこと

軍司令官 演習視察
鳥致院へ

二十七日より鳥致院附近に行はれる第二十師團、秋季演習中第四十旅團演習視察の爲め大庭軍司令官は上野參謀、小佐治副官を隨へ一泊の豫定にて二十六日午後七時十分京城發演習地に向つた尙師團よりは武川參謀長、橫山中佐、山本主計正が同行した

師團長視察

菅野第二十師團長は二十七日より擧行の第三十九旅團演習視察の爲め二[illegible]

境野學長 講演會
盛況に終る

朝鮮教育會、朝鮮及滿洲社及本社との聯合主催の東洋大學々長境野黃洋氏の講演は二十五日午後四時より京城第二女子學校の講堂に開催された、樺尾朝鮮及滿洲社長の開會の辭と紹介兼ね西洋化の將來に對する警告ありて後境野氏は東西文化の基調と云ふ題下に東西文明の根本的差異を說き皮相的西洋化と雜誌受け賣りの新しがり屋を痛罵し聽衆に多大の感動を與へ黃昏に及びて解散した、因に境野氏は二十六七の兩夜南山の東本願寺に於て講演し又二十七日午後四時より鐵道局青年會館に於て朝鮮人方面に對する講演を爲し二十八日の朝[illegible]に向つて出發する由

謝罪書を出さぬ生徒は 放校處分

弘前高等學校理科二年生百八十名は本月九日より五日間同盟休校し六日目より出校したが上京中の秋田校長は謝罪を出すべしと諭したが五六名の外出さず校長は二十五日首謀者三名を放校し百二十六名を無期停學に處した(弘前電報)

支那探檢 總監督 朝鮮通過

化石學と新化學で有名な米國紐育博物館長理學博士ヘンリー、フエアイールガ、オスボン氏は支那內地探檢の總監督として行く途次日本に寄り朝鮮經由北京に行く豫定である(東京電報)

江戶奴の控訴公判

江戶奴が控訴したので控訴院では裁判長、渡邊根本兩陪席岡本檢事係りで取調べらるゝことに決定してゐるが公判期日は未定である江戶奴を落籍するために行金五千圓を橫領した元第百銀行員藤本稔に係る公判も矢張前澤裁判長係りで十一月一日公判の豫定である

東大門署射擊會

東大門署では廿六日廿七日の兩日淸涼里射擊場で署員の秋季實彈射擊會を催す筈の處都合に依り延期した

軍人分會長就任披露

市內明治町軍人分會長就任披露 陸軍二等軍醫中村健吉氏は帝國在鄕軍人會京城第三分會長馬場周三氏死去に付其後任として推擧せられたるを以て二十四日午後七時より金谷園に於て分會役員其他知己四十名を招待して新任披露の盛宴を張つた

人蔘湯

◇本町の[illegible]の前の[illegible]な龍の廣告に、海山千年の功を經たる龍云々と記されてある▲二十三日午後二時頃[illegible]がこの看板を見ながら通りの年增の醫者に向つて『姐さん海山千年の功とは怎麽事』と訊いた▲處が通り合せた職工態の男が『海山千年の功とは姐さんのやうになることだ』ヒドイ男もあるもので無遠慮に高聲で言つたので其醫者[illegible]い事か『ヘン御世話樣』と云つてプンく怒つて行つた▲最近府內で[illegible]を押買して步く男が居て主人の留守と見れば腰を据えて動かぬそうだ▲滯鮮の某高等官の留守宅でも一昨日に見舞はれて何と云つても一寸も動かぬので交番所に訴へてくれと云つて[illegible]知して引渡した▲處が奴さん大喜び『お蔭で一晚就寢處が出來た』

性慾の知識は本書に得られよ!!

何人も讀め!! 病者は是非讀め!!

男女生殖器の新研究

醫學博士 羽太鋭治先生
ドクトル 近江湖雄三先生
醫學博士 頓宮寬先生
ドクトル 松尾峯太郞先生
共著

性に關する書は多いが本書の如く四大家の執筆にかゝる悉しい本は他に類がない然も文章平易何人にも了解され易く忽ち人間神秘の堂奧を窺ひ知ることを得るものである

內容は ◎男女生殖器の解剖◎花柳病の豫防及療法◎快感なき人々の疑ひ◎姙娠より出產までの心得◎避姙に就て◎童貞と結婚◎賣春婦の情態◎肛門病の療法、等で性慾及生殖器に關する事項は全部網羅し且つ挿畵を挿入す。

男女誰れでも一讀了解す

◎一千部限り 特價壹圓六拾錢 代金前金注文送料十二錢 代金引替送料廿七錢
洋裝美本 紙數六百餘頁 定價貳圓

發行所 東京神田水道橋際 振替東京三五〇六五番 前田出版部

治療 癌 新藥
PROZYMOL ぷろちもーる

醫學、理學博士 松下禎二
ドクトル、メヂチーネ 醫學士 日野信次
兩氏發見

醫家臨床家諸君へ急告

學術的理論的にして動物並に臨床實驗に於て可驚好結果を顯はし松下博士、日野ドクトル等が責任を以て發表せられたる前代未聞の癌腫治療藥ぷろちもーるを今回弊社に於て發賣仕候間何卒陸續御申込あらんことを。

說明書御申込により御送附

東京市日本橋區川瀬石町
製造元 東京醫藥研究所
東京市日本橋區若松町三番地
發賣元 藥種貿易商 株式會社 鳥居商店 電話本局[illegible] 振替口座東京[illegible]
大阪市東區淡路町
關西代理店 三共株式會社大阪出張所 電話本局(長)[illegible]

淺田飴

良藥にして口に甘し
たんせきと肺病の特藥

よわき人 聲を使ふ人 老人小兒に最も用ひてよし

本舖 東京 大阪 堀內謹製

一、第一安養里(京畿道始興郡西二面安養里)架換工事
右入札ニ附ス詳細ハ拾月貳拾七日以後ノ朝鮮官報ニアリ
土木部京城出張所

鐵冷溫泉 備前屋旅館

新築落成と同時に萬事を大改良致しました取扱は總て御客樣の御思召に隨ひ必ず御滿足の出來得る樣親切を旨として鐵冷溫泉は此度の新館に常設し冬季は暖房の設備も完成し殊に市の中央にて御便利なる事第一是非共新裝の備前屋へ御試泊を御願申上ます

京城長谷川町 (舊群山屋) 電話壹四壹[illegible]番

來る二十八日(土曜日)午後五時開演 會場 公會堂 會費五拾錢也

筑前琵琶 旭子會五週年記念演奏大會

斯界ノ名流(宗家 師範代)出演

主催 旭子會
後援 京城旭子會

瀬戶引鍋 洗面器 茶瓶 製造販賣

朝鮮京畿道大田[illegible]
朝鮮琺瑯合資會社

辯護士法學士 星田正一郞

京城府[illegible] 電話本局一〇九八番

安中草三

猫遊軒伯知講演 第一三五回

夫婦款待

主『今御戻つたか、餘り遅いから何うした事かと案じて居たが、途中で何事もなかつたか』紫『今日は生憎で大師様が仲の目の勝治にお出掛けなさつたさうで、詰らない無駄足をしたと思つて歸つて來るとお前さんマア暇ケ谷の土手で悪者に掴まつて殺される所を此旦那様に助けて戴いたから、お前さんに能くお禮を云つて貰ひたいと思つて無理に御同道を願つて來たのだよ』主『オヤ然うだつたか、何うも彼の土手と森との處は淋しい處で何時もそんな事がある。夫は／＼……エヽ手前は當所の主人でございますが女房の一命をお助け下さいまして有難うございます、お勝や何はなくとも一献差上げるやうに』紫『私も其心算でお入來を願ひ

出來るやうになりましたこれも弘法大師様のお蔭と稚の名主様の許しを得て此の堂へ參つて堂守をして居ります不斷法者でございます、斯様な見苦しい處へ大小を帶したお方を御案内申して恐れ入つたことでございますが、これも家内が手前にお禮を云はせたいばかりにお連れ申した譯でございませう、何らかマア今晩は御緩くり……』平『歩いて居る内は然うでもないが、足を洗つて上つたら一時に草臥が出て立つのも懶い位』平『お前さんは何といふ堂守か』主『本名は新八と申しますが、只今では龍雲と云ふとなく前に堂守をして居りました了念と云ふもの〻名前其儘でござ

はやるコレラを 尻目にかけて 一家仲よくたべろパン (明治町木村屋電話二八七〇)

ました、マア旦那様何うか此方へ」主『お勝やお前何處に居るのだえ』紫『私ア此處に居りますよ、本當にマア私が少し惰ないと日が暮れても助けないで困つちまふね』平『イヤ御助けながら、お前さん能く此旦那様にお禮を云つて下さいまし』主『エヽ旦那様、見苦しい處へお出で下さいまして有難うございます、今日は又家内が飛んだ御厄介になりましたさうで、何ともお禮の申さうやうはございません、マア何うぞ御緩くり』平『イヤ御禮には及ばぬ、折角助けたに又横道で間違ひがあつてはならんと存じて送つて參つた次第、マア私も今日は草臥れてガッカリ致した』主『こんな茅屋でも何うか今晩は御緩くりお休み下さい』平『此の足では今から岡の里まで行くのは覺束ない、何か〻堂家は庵室のやうに見受けるが……』主『ヘイ昔から堂守も何も居りません處、手前が若い時分からの眼病で弘法様へ願掛をした處お蔭に追々明からんと醫者に見切られた眼が大分快くなりまして、夜分はサッパリ見えませんが晝間から家の廻り位は何うか斯うか一人歩きが

います……お勝やお前が殺される處をお助け下すつた命の恩人……』と袖を引かれて女房のお勝『旦那様に失禮でございますが』と何か紙包みにソツト包みをして紙包みに水引を掛け、女房に何か一寸書いて貰ひそれを平三郎の前へ置き、懇懃に兩手を突き紫『旦那様甚だ失禮でございますが、御覧の通り片田舎お禮と申して旦那様方に差上げるやうなものはございません故、何うか此金子で御草鞋錢で何うぞ土産をお買ひ下さいますやう、ホンの心ばかりの印でございます』平『そんな事をして貰れては困る、私はお前達から禮を受けやうが爲めに助けた譯ではない左様なことをしては却て迷惑だ』主『これは／＼飛んだ御無禮をいたして相濟みません、お氣にお障り下さらん様に……』平『そんな心配をして貰れるには及ばん』紫『其では旦那様、何も美味ものはありませんが何うぞ一口召上つて……』

主『イヤヤこれは折角の御饗應、酒は惡くであらうが私はホンの猪口に二つか三つ位、ドレ御馳走に一献戴からう』と酒を飲みながら平『此の左の方が本當かな』主『ヘイ左様で、併しホンの腰弱只弘法大師の像が鎚つてある丈けの事でございます』と話しを聞きながら猫遊軒伯は手に持つた盃の中を覗いて鍵に盃を寄せた。」

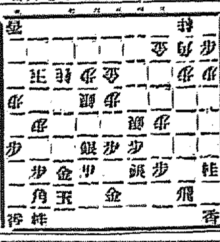
御料理 梅花 京城旭町一丁目 電話本局二貳四八番

將棋新手合 四

於京城明治町小林勝右衛門氏宅 桃友會主催勝呂木七段歡迎會

飛香落 ▲七段 勝呂木光治(東京) 馬場 秀藏(京城)

(圖は前號指了迄の局面) ▲持駒、馬場氏 歩二



△三四銀 ▲七五歩 △一四歩 ▲七六金 △一五歩 ▲七七桂(ヘ) △一六歩 ▲二五桂 △二四歩 ▲一一歩 △同角 ▲一六香 △四四角 △一三桂 △同桂 ▲同香ナル △八四桂 ▲二四飛(ト) △七六桂 ▲七九角(チ)(以下次號)

勝呂木七段講評

▲(ヘ)七七桂は惡手なり此處は一旦桂頭の痛みを防ぐべく二六飛と指す處なり

▲(ト)二四飛と金を犠牲にして強く出たるは良手なり

▲(チ)七九角引きは弱し此場合勝敗を決すべく三四飛八八桂同玉三三金四四飛同金左六一角七二歩七四銀八二玉八四桂打にて優勢なり

衛生問答

【問】一昨年から心臓を患ひ醫師に診察を受くるも未だに思はしからず困つて居ります宜い藥か治療法御存じの方が御座いましたら本欄で教へて下さい(平壤加藤)

【答】心臓のお惡い方の素人療法は宜しくありません矢張適當な醫師の治療を御勧めいたします。

【問】一ヶ月程前から苦しい程腹が張つたり一體に身體に水腫が來たり(飢渇や尿量は日によつて變ります)して若しや腎臓病ではないかと心配して居ます御教示を願ひます而して果して腎臓病であればその治療法をも(病問生)

【答】身體に水腫が來るのは腎臓病脚氣心臓病其他の慢性病から來るのですが誌下の場合は腎臓病か或は其他の腹部疾患より來たものと思はれます兎も角診察せねば分りません早く醫師に御相談なさい。

【問】姙娠三ケ月でありますが關係の都度其翌朝食後必ず吐き出してしまいますが如何した生理的變化がそこに御座いませうか(姙娠女)

【答】貴女のお問ひは紙上にて申上ぐる事は憚りますから專門醫に直接御問合を希望します。

【問】私は兼々胃を病めますが昨今次の様な故障があるのに氣が附きました何れか輕便な療法はありますまいか水落より一寸計り下部に梅干程の固りが出來て居ます(眼離生)

【答】左様な場合は放置して居てはなりません社へ御出なさい御相談いたします。

【問】『ベイキングパウダー』の化學的成分並に胃腸に不良なる理由御教示下さいませ(秋子)

【答】秋子さん最少し具體的に仰しやつて下さい。

【問】私は四五年前から顔面に頭面ににきびが一面に出來て色色な賣藥を用ひましたが一向好くなりさうにありません好い療法はないものでせうか(山生)

【問】ニキビの根本的治療法は有りませんか(ニキビ生)

【答】山生とニキビ生に答ふ 先づ脂肪食を攝らぬ様にし石鹸や其他の刺激物を使はぬ様にしベルツ水を試みて御覧なさい。

關釜連絡船

釜山發 午前九、四〇分 午後八、三〇分

廿七日 朝、景福丸 夕、新羅丸

廿八日 朝、昌慶丸 夕、高麗丸

廿九日 朝、對馬丸 夕、新羅丸

處方を公開せる◎ミツワ家庭藥三十五方の内

胃を健全になし食慾を増進せしむる

小平理學博士監督製劑

◎ミツワ健胃錠

主要成分(重炭酸ナトリウム、重質酸化マグネシア、次硝酸蒼鉛(詳細説明書記載)) 定價(百錠入 金貳拾五錢 三百錠入 金六拾錢)

適應 食慾減退、食物停滞、消化不良、胃酸、嘔氣、胃部膨滿、胃部壓重、胃痛、惡心、嘔吐、胃酸過多、胃弱、神經性胃痛、急性及慢性胃加答兒等。

口が渇き、舌に苔がつき、食慾進まず、食ても味が不佳く、胃部が痞へて張り、或は又壓されるやうに重苦しく、噯氣が出て嘈囃がして、惡心く嘔吐を催し、時々胃部がシク／＼と痛む慢性胃加答兒、即ち一口に胃病と稱へるもの。次に是等の症候が一層劇しく、熱が出て頭も重く、身體も倦怠くなる急性胃加答兒。即ち俗に謂ふ食傷。次に僅少の食物を攝つても、消化ずに久しく胃の中に停滯つて居て、胃部が脹れて重苦しく、頭痛や眩暈などに惱まされ、夜間も安眠の出來ぬやうになる胃弱症。是等の胃病を治し、胃を健かにするには、處方公開のミツワ健胃錠を用ふるに限る。

▼如斯人は◎ミツワ健胃錠を用ふべし▲

一、食餌の進まぬ人 一、消化の不良い人 一、食傷をした人

一、嘈囃のする人 一、嘔吐のある人 一、胃部の痞へる人

一、胃部の脹る人 一、胃部の重苦しい人 一、胃加答兒に苦しむ人

右の他胃腸病に對するミツワ家庭藥四方

◎ミツワ消化錠 主要成分(ヂアスターゼ、パンクレアチン) 定價(百錠入 金四拾錢 三百錠入 金壹圓)

適應 消化不良、食物停滯、食慾缺乏、過食、胃加答兒、胃酸過多、胃弱、其他胃腸障害、貧血、榮養不良、病後衰弱等總て消化を促さんとする場合。

▼如斯人は◎ミツワ消化錠を用ふべし▲

一、食過ぎた人 一、食餌の進まぬ人 一、種々の病氣で消化の不良い人

一、胃部の痞へる人 一、胃部の脹る人

一、胃部の重苦しい人 一、産後で衰弱して居る人 一、病後で衰弱して居る人

◎ミツワ緩下錠 主要成分(フェノールフタレイン、複方甘草散) 定價(三十錠入 金拾五錢 百錠入 金參拾錢 三百錠入 金七拾錢)

適應 常習便秘、胃腸、脳、神經、心臟、肺等の病に因る便秘、其他便秘一般。

▼如斯人は◎ミツワ緩下錠を用ふべし▲

一、便通が無くて―頭痛のする人 ―食慾の無い人 ―腹部の張る人

一、常習便秘の人 一、緩和な便通を得たい人

◎ミツワ止瀉錠 主要成分(次硝酸蒼鉛、タンニン酸アルブミン、沈降炭酸カルシウム、コロンボ根末) 定價(三十錠入 金貳拾五錢 七十錠入 金五拾錢)

適應 過度或は不良の飲食又は腹冷より起る下痢、急性傳染病以外の病に因る下痢

▼如斯人は◎ミツワ止瀉錠を用ふべし▲

一、飲過ぎて下痢する人 一、食過ぎて下痢する人

一、腹冷して下痢する人 一、下痢して腹の痛む人

一、下痢して腹の鳴る人 一、裏急後重に苦しむ人

◎ミツワ制酸錠 主要成分(重炭酸ナトリウム、重質酸製マグネシア、燐酸アムモニウムマグネシウム、硼砂末等) 定價(百錠入 金貳拾錢 三百錠入 金五拾錢)

適應 酒の惡醉、酒の過飲、宿醉、菓子類の過食、噯氣、嘈囃、溜飲、食慾缺乏、食物停滯、消化不良、惡心、嘔吐、胃酸過多症、急性胃加答兒等。

▼如斯人は◎ミツワ制酸錠を用ふべし▲

一、酒に惡醉した人 一、酒を飲過ぎた人 一、宿醉した人

一、菓子など甘い物を食べ過ぎた人 一、嘈囃のする人

一、溜飲の起る人 一、食慾の無い人 一、噯氣のある人

◆以上の他◎ミツワ家庭藥には左の種類あり◆

◎解凝錠 ◎驅蟲錠 ◎清涼錠 ◎解熱錠 ◎祛痰錠 ◎鎮咳錠

◎結核錠 ◎人參錠 ◎複方人參錠 ◎鎮靜錠 ◎婦人湯 ◎婦人坐藥

◎治淋藥 ◎淋疾洗滌液 ◎點眼液 ◎鼻病液 ◎齒痛液 ◎含嗽錠

◎驅梅錠 ◎痔痛液 ◎養毛液 ◎腋臭藥 ◎撒布藥

◎泥膏 ◎制痒膏 ◎座瘡膏 ◎頭垢膏 ◎凍瘡膏 ◎痔坐藥

小山田醫學士編 家庭治療法(全一册)郵券にて金五拾錢を拂込あれば送呈す

全國到る處の藥舖其他にて取次販賣す。最寄に取次店なきときは本舖より直送す(郵券代用不苦)。取次販賣御望。副業として確實適當。發賣品目錄及取次販賣規定申込次第送呈。

振替貯金口座東京七一〇 ミツワ石鹸發賣元 東京橋町 丸見屋商店

ミツワ家庭藥は三越呉服店藥品部を初め各大雜貨店藥品部にても販賣致居候

(10・4)

足袋王 つちやたび

本社 久留米 支店 大阪 東京

白玉ホワイトワイン

本邦唯一の白葡萄酒

婦人小兒のお口にも適す

變色せぬが何よりの誇り

白玉ホワイトワインは純生粋の白玉葡萄酒にて現今着色葡萄酒の中に只白玉のみが最も衛生的に醸造されてゐる事は何よりの誇です。

朝鮮代理店 京城南大門通 刀辻本店 仁川港 あづま商店

△女中さん二名至急入用(十八歳以上)

御希望の方は手紙其他で御照會被下い

鎭南浦三和町 御旅館 浪花館

△客室清雅 △眺望佳絶

記念展覧會の爲めに特に設備が整いました

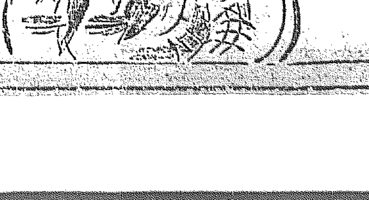
おいしいお菓子 ― 全國到處の和洋菓子食料品店に販賣す ―

サクマ式ドロップス

東京 佐久間製菓株式會社

哺育難?!

落穂拾ひ吾子に運ぶ親鳥の、苦心の効がありてこそ、樂しきものぞ。育たずば淋しく如何に親心、迷ひて千々に碎けんをラクトーゲンは血と肉を、愛兒に與へてあり餘る、力は老衰、病弱の、さては産前産後の御婦人、感謝に溢る御賞用、受けて數増す用途の延長今ちや贈りつ、贈られつ。



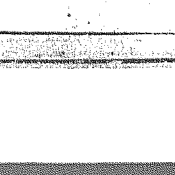
カルシウムを含むさら／＼とした粉末純乳

ラクトーゲン

決して腐らず湯にとけば即座に乳となる

發賣元 乾卯食料品株式會社 大阪市東區道修町二丁目 東京日本橋區本石町三丁目

(見本及説明書御申越次第送呈)



日英米三國の新條約協定が必要

【東京電報】外務省筋—紐育タイムス、ヘラルド、バルチモーア、サン、ポスト等の米國新聞は米國當局の意見なりとして頻りに佛國の海軍制限條約批准を促すも政府としては之を傚ずる譯には行かず[illegible]

徐氏武器を購ひ福建へ輸送

【北京二十四日發電】本日北京デーリーニュースはハクブン通信所報として徐樹錚氏の報告に依れば徐樹錚氏は武器購入の爲め[illegible]の一名と[illegible]

陳情委員會

京城府にては二十四日午後三時より[illegible]を開催したるが[illegible]居上吉松府尹は大都市に於ける[illegible]會の害[illegible]

樞府聯盟規約

[illegible]

浦鹽航路繼續か

碎氷費と課税—朝郵側の意見

目下浦鹽航路に就航中の船舶は大阪商船の鳳山丸北陸汽船の能登丸、朝鮮郵船の釜山丸及び滿洲丸の四隻で朝郵のものは滿洲丸、釜山、元山、浦鹽間を往復し能登丸は浦鹽直通、鳳山丸は敦賀、元山、城津、清津、浦鹽、元山、釜山、下の關、神戸、大阪各港に寄港して居るが浦鹽が赤軍の手中に落ちて後迄も此航路を繼續するか否かは

當事者研究しつゝある所であるが松崎朝郵專務の談に依ると如何に向ふ見ずの赤軍でも妄りに邦船に危害を加へる事もあるまいし此上浦鹽は命令航路だから政府の承認なくして止める譯には行くまいから當分は現狀を維持するつもりらしい、二十七八日には滿洲丸が浦鹽に入るから同船の歸鮮を待ち今後の方針を定めるとの事である、朝郵航路の繼續に付き問題の一つは碎氷經費の支出方で從來は我陸軍で年々廿萬圓を出してやつて來た我軍撤退後は其支出が出來なくなつて年額十萬圓を負擔する事になつたが他の半額は白軍は遂に支出出來ず赤軍と變つても目下の財政上到底支出出來ない有樣であるが多分今後浦港に入る船舶に對しては多大の碎氷費を徴收するに到るべき模樣である

航路標識税

を課して碎氷費さへ收支償はざる同航路に此上重税を課せらるゝ事は當事者に取つて少からぬ打擊であらう

不況時と融通機關

久保田鮮銀支配人談

私設交換所が依然閉鎖してゐるやうだが組合銀行では之れを防止する爲め五月頃から小切手に對する警戒を嚴重にしてゐるので或る程度まで取締る事が出來たと思ふ、併し如何に

警戒を嚴重

にしても所謂私設交換所の加盟者なる者が手形で取引を行るのだから是は何うする事も出來ない、實際手形の交換は依然行はれてゐるらしいが一面から見れば融通手形と同樣な融通機關であつて斯う云ふ不況の時節には一層增加するであらう、若し一人の銀行取引停止處分者が出れば其損害は因果關係で私設交換所會員の全般の金融に波及し時には一層惡しき目を見る事となるから組合銀行としては或る程度まで取締る積りだが之れを全然撲滅する事は不可能である、又撲滅するの考へは無い、財界も依然不況の域を脫しないが消費節約といふ事が

一般の覺醒

を促して來たと認めたら一般の購買力が大分減退して來た、是れは誠に喜ぶべき事だ、此の歩調で進んで行つたら景氣の立直るのも早いであらう、斯る不況時に處し銀行當業者は必ずしも緊縮を執つてゐる譯でない、實際的方面に對しては資金の需要に應じてゐる地方の銀行などで親銀行が八釜しいといふ事を口實にしてゐる所もあるとの噂を聞くが鮮銀は決してそんな事に干渉する譯は無い。

小作問題

對東拓移住民　會社側の意見

東拓移住民と小作問題に就き東拓側の意見によると黄海道載寧郡北栗面の朝鮮人小作人三百餘名が東拓移民の增加により漸次生活上の脅威を受くる恐れありとの理由で總督府に對し今後東拓移民を增加せしめざる樣運動中で當局も移民に多大の同情を寄せて居るとの事であるが之につき東拓側の意見を聽くと元來移住民と小作人とは感情上互に好意を持ち得ない立場にあるので多少の反感を懷くのは誠に止むを得ない事である。併し感情に走らず事實上から之を見ると決して彼等の生活を脅威するやうな事はない即ち北栗面の耕地は全部で二千八百町歩で東拓の移民は二十三戸一戸當り耕地一町八反歩收穫五十三石に過ぎない之に對し朝鮮農家の戸數は一千三百九十五戸一戸當り耕地一町八反

生活を脅威

するやうな事は之を見ると決して[illegible]

約一割三分の增加を爲した、それが最近には本社の移民數二百二十戸各戸當り耕地一町九反九畝步で反當收穫は五石、鮮人農家の數千七百十戸各戸當り耕地一町二反五畝步で反當り收穫量三石七斗である、即ち鮮人の耕地は約七割を減じたが反別收穫は五割三分を增して居る、此數字だけ見ると鮮人の各戸當り收穫は一割七分の減少を示して居るが一部の鮮人農家の數は

約一割三分

の增加を爲して居る隨つて各戸當の一割七分減收は仕方ない事である、朝鮮農家の收穫が此の數字通り一割七分減少したかと云ふに本社は常に小作人の生活に注意して或る金融の便を與へ或は耕作改良の指導を爲すと共に小作料の輕減には充分の手加減を加へて居るから五割の小作料と云つても實際は四割强にしか當らない、之等の事情を併せ考へると決して東拓移民の排斥を叫ぶ程の事實はないと思ふ、本社では鮮人小作人の不安を除く爲移住民を入るべき場所と絶對に入れぬ場所とを區別し彼等に示すつもりで居る。之により移民の豫定地にあるものは豫め用意を爲す事も出來るし移住民

不招來地域

にあるものは絶對に安んじて耕作が出來る譯である又移民を入れる場合には鮮人に對しても他に生活の出來る丈の土地は分けて與へるつもりである將來は耕作方法の進歩收穫の增加等の爲し小作者が充分生活の出來る程度で移住民を增加する方針であるから鮮人小作者の生活の根據が全然破壞される如き事は斷じてないと云つてよい。

殖産積金成績

殖産銀行に於ける殖産積金の成績は創業以來非常の好成績を以て增加しつゝあるが最近一箇年間を見るに著しき增加を示して居る、即ち本年五月以降に於ける新規加入者は六千四百四十一人で契約高二百五十八萬四千七百圓なり、九月末現在に於ては一萬七千四百十一人契約高六百四十三萬八千四百圓に達せり猶ほ同行は一層加入者の增加を期する爲めに本年の契約額は[illegible]

同行貯蓄預金總合計の成績を列記すれば左の如し

	人員	圓
八年九月末	八、三九五	三一、三八、一七
九年九月末	四、六五	六二、六六、六六
十年九月末	四六、九五	一三三、一四〇、四七
十一年九月末	四六、四	二九七、八九、二九

にして其の增加は逐年高率を以て增加しつゝありと

蘭貢産米良好

【東京電報】蘭貢地方に於ける本年度米耕作中收穫を豫想せらるゝは一千五萬四千六百十三エーカーにして前年度に比し二十萬七千エーカー減少に比し三萬エーカーの減少なるが稻の發育は害蟲の被害なく極めて良好で收穫は滿足であらうと豫想されて居る(農商務省海外在勤領事報)

鮮銀の所得額

本年一月より同六月に至る所謂上半期に於ける朝鮮銀行所得額は二百十四萬三千圓に達したるが其の所得税額は約十一萬圓に達せし由

橫濱生絲相場

總督府入電左の如し

二十五日　氣配續て靜穩なり重目物は品澤山にて相場も安含みなり

信州、武州格二、一七〇圓見當

京取重役會

京城取引所にては二十六日重役會を開催せるが右は本社社長が内地取引所視察の爲め近く旅行すべき爲め來月の定例重役會を繰上げたるものにして主要案件は京取の本館近く落成し十一月中旬より市場を移轉し開設する爲め移轉期日決定を主とし其他豫算等の協議を行ひ、市場振興策等をも併せて附議すべしと

商議設宴

京城商業會議所にては二十六日午後六時より[illegible]を招待せり

商品市況(廿六日)

綿絲布　(手堅)米棉續騰を入れ三品の强硬を移し地方實需筋弗々買進み市在荷薄にて氣配手堅し其の成行相場左の如し

▲一、粗布三エイ二百五十五圓▲九七圓▲金剛山二百三十圓▲大エイ二百三十一圓▲金閣二百十四圓▲雙鶴百二十四圓▲細布飛犬(13)十二圓▲世界十二圓九十錢▲金鼎十一圓七十錢▲綿糸扇面二十五圓▲晒木棉竹一圓三錢▲雙女(10)

鮮魚　(反騰)三四日前落の反動を受け各品三四圓より二三十圓方の昂騰を見た其の成行相場左の如し

鯛四十五圓▲小鯛四十五圓▲車海老百五十圓▲も海老四十五圓▲小海老三十圓▲かじき三十圓▲平す十圓▲鯖十二圓▲さわら二十五圓▲このしろ二十圓▲ぼら十二圓▲ヒメ十八圓▲たて十六圓▲いか三十圓▲ほうぼう十四圓▲鮑三十五圓▲きすご四十五圓▲ちぬ二十五圓▲さより十八圓▲ますめ二十圓▲しやけ十四圓

雜記帳

▲朝鮮の小紡績業は[illegible]もら[illegible]の成績を擧げて來た紡績業を[illegible]▲その理由は物價の下落に伴ひ他の製品に比し比較的[illegible]に過ぎたと云ふ[illegible]▲其後何等の對策を講じてゐるらしいが▲尤も[illegible]の契約高を得る爲めに[illegible]が行はれるとすれば[illegible]價が[illegible]は段々と鈍くなるやうだが紡績株は[illegible]して底强い所があるやうに見える

株式(廿六日)

現株中値出來値

銘柄	前場	後場
京取	[illegible]	[illegible]
仁取	二三五・〇〇	二三五・〇〇
同新	四八・〇〇	四八・〇〇
鮮銀	八〇・〇〇	八〇・〇〇
同新	三〇・一〇	三〇・〇〇
東銀	四〇・〇〇	四〇・〇〇
同新	二一・〇〇	二一・〇〇
武銀	二一・〇〇	二一・〇〇
東銀	四一・二〇	四一・二〇
同新	三〇・八〇	三〇・八〇
殖銀	三九・二〇	三九・二〇
同新	[illegible]	[illegible]
朝銀	三五・〇〇	三五・〇〇
東拓	四〇・〇〇	四〇・〇〇
同新	二〇・〇〇	二〇・〇〇
鮮土	三六・〇〇	三六・〇〇
朝紡	九・五〇	九・五〇
鮮毛	七・〇〇	七・〇〇
京電	四六・五〇	四六・〇〇
電興	[illegible]	[illegible]
釜所	二三・〇〇	二三・〇〇
朝郵	三五・〇〇	三五・〇〇
鮮鐵	六・一〇	六・一〇
中鐵	三七・〇〇	三七・〇〇
同新	八・〇〇	八・〇〇
満鐵	一〇四・〇〇	一〇四・〇〇
同新	四〇・〇〇	四〇・〇〇

乙の部

銘柄	前場寄付	大引
京取	五三・五〇 五三・〇〇	五三・二〇 五三・四〇
仁取	二三五・〇〇	[illegible]
同新	四八・五〇 四八・〇〇	四八・〇〇 四八・六〇
大新	八八・五〇 八八・〇〇	八八・二〇 [illegible]
朝紡	[illegible]	[illegible]
中鐵	[illegible]	[illegible]
安取	三三・〇〇 三三・〇〇	三三・〇〇

大阪株式

銘柄	二十六日前場寄付	大引	二十五日後場大引	二十六日後場寄付
大株	一〇八、〇〇	[illegible]	一〇八、〇〇	[illegible]
同新	八九、六〇	[illegible]	八九、一〇	[illegible]
郵船	八四、六〇	[illegible]	八五、四〇	[illegible]
商船	四三、七〇	[illegible]	四二、三〇	[illegible]
同新	一一、一〇	[illegible]	二九、三〇	[illegible]
鐘紡	一二〇、〇〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	二八二、三〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東紡	一一〇、三〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大株	前場大引 二二〇、八〇			
同新	八九、一〇			

大阪延取引

銘柄	二十六日前場寄付	大引
商船	八四、一〇	[illegible]
同新	二二、一〇	[illegible]
鐘紡	三〇〇、五〇	[illegible]
同新	二八一、一〇	[illegible]
東紡	一一〇、〇〇	[illegible]

〇二十六日後場

銘柄	寄付	大引
大新	八九、五〇	八九、二〇
鐘新	二七九、四〇	二七九、〇〇
天取	[illegible]	[illegible]

安東株式

	寄付	大引
〇二十五日後場 安取當	二〇、三〇	二〇、三〇
〇二十六日前場 安取先	二〇、二〇	二〇、二〇
安取當	二〇、四〇	二〇、六〇

前場昂騰　京取一圓十錢高

昨後場大阪の伸惱みを入れ小安く打止めた氣先今朝大阪大新八十九圓十錢の續騰を入れて人氣昂り多少買方を逸巡ならしめ一部賣方の買進みと多少買方の崩れ當りつき遂にジリジリと高値に寄りつき京取は一圓十錢高仁取新は十錢高と其他も不氣乘乍ら小堅りの取引であつた

歩み　▲京取短期　五三・七〇　五三・九〇　二三・八〇　五四・〇〇　五三・九〇　五三・九〇　(大引)

三圓二十錢迄昂騰

手振　▲京取短期 買方、大島、中津留、朝、南、新田、田中、池田、買方、中村、洪鍋、井口、北村、川崎、橋下、櫻谷、金秀、▲仁取新短期 賣方、金龍、有田、新田、▲安取短期 買方、井口、北村、坂田、中村、田中、買方、池田、南、櫻谷、賣方、▲現信 買方、中津留、白樂、賣方、南、塚野 南、▲丸信 賣方、田中、中村、▲現信 買方、有田、關、賣方、南、北村

後場續騰

前場高勝の氣先後場大阪休會にて入電なかりしも人氣は愈々堅調し來り買氣を喚起し短期は京取一氣に五十錢高値を呼び六十錢方續騰に押し結局六十錢方高大新は十錢高く取引も新は五十錢高に寄り高値を突破して六十錢高大新は十錢高く仁取引も新は二十錢迄昂騰せしも鮮銀新二十圓ドタと小高く週間物は保合にて不氣乘ら氣配小强く大引した

歩み　▲京取短期　五四・一〇　五四・一〇　五四・三〇　五四・一〇　(大引)　五四・〇〇　五四・二〇　五四・二〇　五四・四〇

手振　▲京取短期 賣方、櫻谷、中津留、新田、橋下、方華、南、金龍、田中、新田、有田、大島、買方、中村、井口、塚野、洪、川崎、北村、坂田、白、▲仁取短期 賣方、李宵、方、中村 買方井口、▲仁取短期 賣方 田中、橋下、井口、趙、買方▲安取短期 新田、有田、市川、坂田、大島、買方、方、北村、南、▲大新短期 賣方、中村、北村、買方、池田、中津留、新田 丸信 賣方、▲鮮銀新買方 井口、賣方 南

短期算定日步

算定　京取五十三圓、仁取百二十七圓、仁取新四十八圓、朝紡九圓五十錢、安取二十圓、大新八十九圓

日歩　京取二十五錢、仁取五十錢、仁新二十五錢、安取十錢、大新六十錢(逆)

出來高(二十六日)　▲甲部二百四十枚累計二十二萬九千八十枚▲乙部出來不申累計二萬六百五十三枚▲短期三千三百四十枚累計六十二萬一千五十枚

株界小言

▲相場は豫想された通り愈々月末高を實現して今朝は大阪の續騰となつて當市場も重い仲惱みの商狀から脫して京取は一圓十錢方昂騰し其他も一齊高を示すに至つた强氣は愈々之れから大相場を出すだが強注文通りなるが一カ弱氣が脅やかされると云ふ處取りであるが今後買方が勝ちつてカの限りの買ひ過ぎた咎めとなつて來たならば腰弱の賣方は氣が持てなくなれば勢ひ踏み退かねばならぬ事になつて來る▲然し買方の主張は今後の財界に照せばそう大した咎めを見ない限り不安な氣配にならぬ道理はないと云ふが今後の咎めを買ひ上げて居るとやがて又同じ運命に陷る事になるであらう▲尤も相場は未だ相當伸力を持つて居るやうだから今後の買材料として見當らないから今後相場が續騰しても踏物が一巡し買方の利喰が現はれると共處に又押し目を見せる事になるであらうから買ふとしても矢張り警戒するの必要はあらう

利喰急がる

今後場は大阪休會にて入電なきも人氣は愈々引緊り來りたるもの如く勝勢稍急を告げて來たやうであるが之れと共に財界は四圍の狀態が變つて來たと云ふものゝ大した材料もないので早くも利喰を急がるゝ傾向を見せぬでないが斯る際に[illegible]付買を警戒するものがあり從つて利喰も急がるゝと云ふ狀態であつた

されて居る、最安値より十圓餘の反しではあるが何れかと云へば未だ底値は相場に仕拂つて居り買戻し期待が今尚安心して居る向が多いから今後高値に進むに從つて買物の續出する事は無論の事である從つて今後大阪方の小掬利喰と相俟つて京取は伸惱み又は下押しを告げる場合があるかも知れぬが併し其一方に於ては夫れに依つて相場は益々健實味を加ふる譯であり相場が戻るに從つて買方にも一氣に伸び切らぬ所が相場の壽命が長い所以であると觀測され徐々に規律買物を促す事となり矢張り大阪高に順應するものと觀る者もある

力辻川仲買店

仁川米豆取引所仲買人

受信登錄(ニッセンカチラ)　電話(長六九、三五、三四)

仁川米豆取引所仲買人　松田慶之助　(電話長六二長六三番)

回復の第一歩乎

三ケ月の長きに渉る軟調持續は所謂底値百日の大底練りであつたらしく最近に至つては底固め後の徐騰歩調にヂリヂリ引緊りの商狀を呈し來り株其物としては安心すべき安定の狀態となつて居たが大阪が綿絲の形勢を悲觀されて伸惱みの商狀であつた爲め當市場も愚鬪付いて居たが今朝は大阪大新八十九圓五十錢の好勢を入れて伸び惱みの氣重き商狀から脫して遂に大阪高に順應し京取短期は

五十三圓二十錢迄昂騰し昨引値より一圓十錢方昂騰

した元來今回の相場は底固めに依つて出來て居る上に生絲高に依るとも言はれ東京と相前後して高値の根底ある本物であるとが確認されたのはとろ同事に米國景氣の良好であることを知つて先づ東京高となり次で大阪高となり東西相呼應して好調を呈し其根底も相當に深いものがあるから今後或る程度迄の立直りを告ぐべきは疑ひを容るゝの餘地はなく大勢觀としては株界回復の第一歩と見て誤りがない樣であるしかし乍ら今後京取株が果して内地の大勢に順應して或程度の回復を示すであらうかと云ふに全然内地に順應すると云ふ事は多少疑問

仁川期米

米況(廿六日)

前場頓挫す

昨後場阪地の止め高に二十一圓十錢と跳上げ〇八錢と手堅く打止めたが配は大阪氣配十錢高を受けて今朝前場阪地引氣配ボケの二十三圓五十二錢と二十八丁安に寄付きを移したる爲之れに買氣を殺がれ當出來ず中二十二圓九十錢先二十圓八十錢と二十八丁安に寄付

▲第二節　當出來ず中八十四錢先七十五錢と下寄せしも押目は買氣へ入り十二錢と縮り七十九錢と引

▲第三節　當中出來ず先七十八錢と引り跡阪地の手堅き脚に八十三錢と縮りて引

▲第四節　當出來ず中八十五錢先八十四錢より大阪跡六十八錢の小高き移りに九十八錢と引締りて引

▲第五節　當中出來ず先九十錢十一錢と大阪六十一錢の小甘き移りに八十九錢と下違ひに引

▲第六節　當中出來ず大阪五十三錢のヂリヂリ安に先七十九錢より二十三錢と押し三錢と頭重く大引した

問題は當限

來る廿八日の前場を以つて納會を告げる當限は表面の取組は二千三百石であるが某仲買店の懷ろにむすぼれて居る二千石を加算すると四千三百石となる然るに之に對する渡米は只其處に鮮米取引上の稀少でありそれが近寄る甘いなる影響を讒る中込付に交渉中らしいが賣方は買方の要求に順應するか如何に對し何處迄も仲値を維持して出る方針で賣方は東京の米に頼れるか二日の間に何千石の米が回送せらるか二日の間に何千石の米が回送せらるかによつて決まるので[illegible]目睹である

淀みか底平

仕手關係から云ふと未だ賣方に主力筋の顏振れが多い氣味があるのみか西の谷一派は手持米を維持し兼ねて居るが賣方の持米は關西方面の山内筋から足袋源等より買米を維持して居るかの如く見えるが其の相場は最早下げ足の汚ない處を見ると全くの大勢は最早一巡して昨今の持合ひは弗々局面轉換の前提ども見做されぬでもないが一方の命脈も尊は正米市場に對する現物商人の態度から觀ると値頃の安い割り活氣が乏しく此の邊の下げ澁りは只値頃思ひに買ひ易い關係と賣方が之れまでと異なり可成突込み賣りを避けんとする淀みで新米が出揃つて到る處に米山を築くようになれば今一段の不勢は免れ難い樣に見受けられるが此の持合ひが未だ下げかけの淀みか底固めかは輕々に斷じ難いが尤も値頃としては買へない相場でなくとも内鮮を通じ强氣と云ふ强氣は獨り定

双方警戒す

當市場が[illegible]地の割り底固い振合から米るのは月末の關係上賣方が突込賣りを警戒して居るといふ丈けで別に之れと云ふ强材料が現れた譯ではない亦賣方としても之れまで再三好商の押目と見て飛びついては投げ退きを餘儀なくせられて來た其の經驗から二十一圓臺のものは餘り賣氣は引立たず玆暫く双方の警戒にて大した變動は望み難い模樣である

期節のみならず現物筋も腰の大暴落にて痛手を蒙つた揚句で一寸手出しの出來ぬ處へ秋日和の良好なる爲作氣分け强つて居る折柄で假合下値は林しきにもせよ新米出盛期の形勢を眺めた上で全くの方針を極めやうと云ふ向が多い事丈は慥かであるが然れば此の持合ひ分岐は今後農家の態度如何と之れに對する政府の米價施設の如何に依つて定まるのではなからうかとも言はれて居る

阪地新手買

阪地は依然反撥底堅い摺下で之れに兵庫筋の買溜へ加はる樣だが株式筋東京筋の外思惑筋等の新手連中が買出動を始めたらしいので頭の重い裡にも根强い處が出來て來た

米界閑餘

阪地は石井關係の古米が山内足袋源の直り足が鈍い處へ飽まで戻り賣りを云ふ當りが邪魔に來て居る總買ひで地押は下げ止まり成と來て居るほど手輕く直れりに下げ足が汚ない▲其れにしては餘ない樣に見へたが其れにしても其筋だらう古米が見れて氣を腐らしては何れも下げ一巡と云ふ光景を演じて居るのは只阪地丈で其の他の市場居るのに見ると阪地が各地の相場を牽制する威力を有して居るか否やは疑問である▲殊に下げ居るとし之れ以上に下げ得る先相と云はれた桑名が阪地下げの先相と云はれた桑名が阪地下げ足の割り以上の反撥力が潛むで來た氣味がある此點には多少注意を拂ふ要がある此點には多少注意を拂ふ要が只豐作の爲め許りでなく其の根本は全く行き詰つた其の爲めで恰も無一文で旅籠に泊つた客と等しく立つに立たれぬ事情に陷つて居るとすると大根時の大根が安くても高くても一度は米の山を築かねば縮りのつかない出來秋を見かけて値頃思ひに買ひつくのも何んだか心細い氣もする

後場跳返す

▲第一節　當中出來ず先二十圓九十五錢と二十二丁高に寄付

▲第二節　當中出來ず先二十一圓十七錢と跳ね十錢高の大阪跡高騰に三十五錢と叩き十七錢引

▲第三節　當中出來ず先一圓十五錢より二十一錢と戻し十錢と押し十二錢と持合ひに引

▲第四節　先一圓〇九錢より十五錢と持合ひに引

▲第五節　先一圓十五錢より四錢と弛み十七錢引

〇二十六日	前場	後場
寄付	二〇、八〇	二〇、九五
止値	二〇、七三	二一、一五
高値	二〇、九九	二一、三五
安値	二〇、七二	二〇、九五
前場公定値		▲後場公定値
一節	二〇、八〇	二〇、九五
二節	二〇、七九	二一、一七
三節	二〇、八〇	二一、一六
四節	二〇、九四	二一、一〇
五節	二〇、七五	二一、一五
六節	二〇、七五	[illegible]

値段	當限	二一、三三、二〇、七八
取組高	當限 二千三百石、中限 一萬千六百石、先限 二萬千四百三百石	
出來高	九萬五千六百石	
累計	二七七、七〇〇石	

賣買差引表

	賣方	買方
④	六〇〇	一三〇〇
⑬	八〇〇	一三〇〇
⑤	八〇〇	五〇〇〇
一	二〇〇〇	一〇〇〇
い	一〇〇〇	一一〇〇
丸大	一〇〇〇	五〇〇〇
丸中	一八〇〇	二四〇〇〇

城穀物京

正米現物

人氣は依然軟弱なりと雖も地出廻り薄の處へ精米筋は何れも先安見越しに買控への掛合にて玆原料庭遷きの折柄當用日の買急ぎもありて非買氣の安割りに相場の下足澁はけず必需品は却つて賣人の主張に屈して强取るといふ有樣にて三等合格丸く新米は矢張り二十六圓以下の賣物なく地場玄米も前日と變るざる唱へにて穀良都六錢五厘神力六錢三厘新七錢在來種六錢見當を持合ひつゝあり

延

新米の出廻りに伴ふ先安見越しはありながらも眼前現物の賣物薄を眺めては無暗に突込みもならず又た下値滯しと思へる手口として再三値頃買に失敗を重ねたる後丈けに腰を定めて買附難き處もありて兩者の氣迷ひは漸次に深まりて玆何れにも乘出し兼ねたるものゝ如く今朝は別項の如く氣丈ながら閑散を極めた

前場十一月末限二一四〇　四二▲十二月中限二一二〇　二一▲出來高三百石

大阪期米

〇廿六日前場		二十六日後場
寄付	二三、五一	二三、五二
止め	二三、五一	二三、六二
中寄	二三、六七	二三、六九
止め	二三、六八	二三、九〇
先寄	二三、五二	二三、六〇
二節	二三、五二	二三、六八
三節	二三、五一	二三、九〇
四節	二三、五一	二三、九〇
五節	二三、六七	二三、七九
六節	二三、六八	二三、七九
七節	二三、六一	二三、七五
八節	二三、五三	[illegible]
九節	二三、四一	[illegible]
十節	二三、四三	[illegible]

兵庫期米

〇二十六日前場		二十六日後場
寄付	二三、四	二三、三一
止め	二三、三一	[illegible]

下關期米

〇二十六日前場		二十五日後場
寄付	止め	寄付
當限	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]
先限	三二、三	三二、三

各地期米

〇二十五日後場止め

東京	二三、五七、八	大阪	二三、八〇
兵庫	二三、五一	下關	二三、八〇
桑名	二三、一〇	名古屋	二三、六〇
熊本	二三、一	金澤	二三、九〇

大阪三品

〇二十六日前場寄付　前場大引

棉五十錢高　倫敦銀塊相場三十四片十六分の五米

	前場寄付	前場大引
十月限	二三、六〇	二三、六〇
十一月限	二三、一〇	二三、六〇
十二月限	二三、一〇	二三、八〇
一月限	二三、〇〇	二三、六〇
二月限	二三、〇〇	二三、二〇
三月限	二三、〇〇	二三、二〇

〇二十六日後場

	合約	
十月限	[illegible]	
十一月限	二三、一〇	
十二月限	二四、〇〇	
一月限	二四、八〇	
二月限	二四、〇〇	
三月限	二三、〇〇	

東京期米

〇廿六日前場		廿六日後場
先寄	二五、六〇	二五、五〇
二節	二五、一	二五、二
三節	二五、〇	二五、六五
四節	二四、六九	二五、六一
五節	二五、五七	[illegible]
六節	[illegible]	[illegible]

大邱正米

十二月中限二十圓二十錢より十九圓九十錢(二十六日)

賣買委託米穀仲買　廣澤正次郎　仁川港濱町三丁目　電話長六五番、六〇番

群山正米

前場現物米二十五圓十錢十一月末限二十二圓十一月十九錢十二月中限二十二圓八十錢出來高一萬三千石(廿六日)

釜山正米

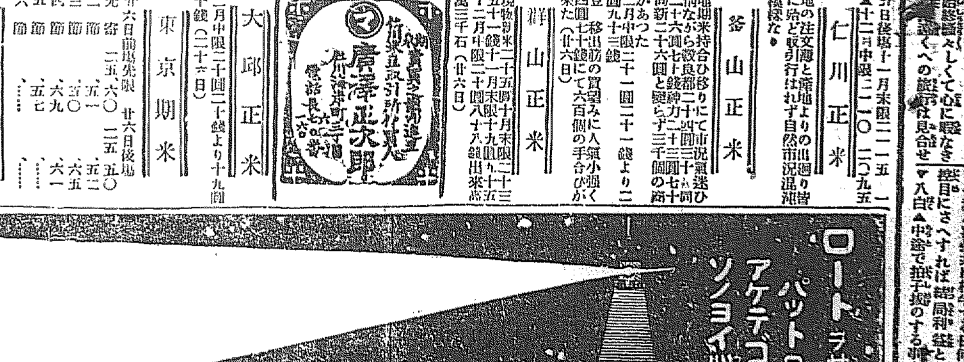
内地期米持合ひ移りにて市況氣迷ひの傾向ながら穀良都二十四圓十錢同新二十六圓七十錢神力二十三圓七十錢と變らず大豆移出筋の買望みに人氣小强く二十二圓八十錢出來高六百個の手合ひがあつた(廿六日)

仁川正米

〇▲十二月中限二十一圓五十錢より二十一圓九十五錢(二十五日後場)

内地の注文薄と産地よりの出廻り皆無に付き取引行はれず自然市況混沌の模樣なり

▼四綠▲治郎▲大▲安▲己巳▲四綠▲明中▲辰巳▲三▲ [illegible]



井上博士ノ

ロート目藥

目ニ見エテズンぐトキクシマズ イタマヌ

ロート目藥には消毒した新案の点眼器を添へてあります。

定價{中瓶參拾錢　大瓶五拾錢　小瓶廿錢}

本舗　東京　大阪　山田安民藥房

●全國各藥店にあり

破格特價提供

實用本位のパイン萬年筆

▲安全繰出式クリップ裝著▽

無飾　三圓八十錢
十四金飾付　四圓八十錢
婦人用クリップ付　三圓五十錢
十四金飾付　五圓八十錢

▲自動吸入式クリップ裝著▽

無飾　三圓九十錢
十四金飾付　四圓八十錢
十四金飾付　五圓八十錢

ブルドック形　六圓八十錢
安全インキ止式
實務用二號　三圓八十錢
(實用一號)　二圓八十錢
(學生用)　一圓九十五錢
ビジネス十四金ペン付
事務用　一圓五十錢

詳細カタログ進呈

發賣元　京城日報社代理部　京城太平通　振替京城三〇〇番　電話本局六〇〇九番・二七四八番

特約店　京城三越吳服店

朝鮮銀行

資本金　八千萬圓
拂込濟資本金　五千萬圓
積立金　壹千五拾四萬圓

本店　朝鮮京城南大門通
振替貯金口座京城三三三番

朝鮮、滿洲、支那、預金、貸付、内外國爲替、外國爲替一般銀行業務其他朝鮮銀行券ノ發行並ニ朝鮮總督府及滿洲於テ日本銀行代理店事務ヲ取扱フ

支店出張所

内地　東京　大阪　神戸　下關
朝鮮　釜山　大邱　仁川　平壤　鎭南浦　元山　群山　木浦　羅南　會寧　新義州
滿洲　大連　旅順　營口　奉天　開原　長春　吉林　哈爾賓　龍井村
支那　上海　青島　濟南　天津
露領　浦潮斯德
外國　紐育

其他內外國要ノ地ニ爲替取引先有之候

總裁　美濃部俊吉

(元李王職美術品製作所)

製品陳列所京城太平通一丁目御來觀乞フ

目錄價格表進呈仕候

營業種目
金銀銅鐵製品　漆器製品　工藝品　木工品　石工品　造花　彫刻品　打物

朝鮮美術品製作所　京城太平通一丁目　電話本局二三一番　振替口座京城四〇七番

倉庫滯貨處分

毛布の大見切

破天荒の處分賣　品切れ次第中止

特大判一枚物　輸出毛布
大判三枚つゞき　鼠毛布
大判三枚つゞき　茶毛布
大判三枚つゞき　白毛布
大判三枚つゞき　赤毛布
大判三枚つゞき　ラクダ毛布
大判三枚つゞき　羊本毛鼠毛布
大判三枚つゞき　羊本毛白毛布

本品は三菱住友東洋棉花等の各商社より買受けたる物にて何れも優良品なれば御注文の方は至急御申込あれ

東京市日本橋區本石町一丁目　毛織物問屋　關谷商店　電話本局二三一四

懸賞當選小說

潮鳴る半島 (74)

馬場明作　鶴田吾郎畫

現代座〔三〕

廊下傳ひに、支配人の常起と、執事の山本老人とは、三造の部屋の前まで來た。

「お君さん」

と、山本老人は、障子の外から、小さく呼んだ。返辭がなくて蒼ざめた顏にほつれ毛を唇に咬んだお君が、そつと障子を内から開けて出て來た。

「いゝかい」

山本老人がまた訊いた。

「あのね、今、漸く眠りついたの……」

と、お君が囁いた。

「さう……」

山本老人はちよつと躊躇して、

「それでは、あとからにしようか」

と、常起の方へ捻ぢると、

「だれぢや？そとでぶつ〳〵云はんで、こつちへ這入れ」

と、眠つてゐると云ふ三造が、眼をさまして、怒鳴つた。三人は顏を見合せた。

「あの……山本さんと、常起さんですの……」

と、お君は、靜かに答へた。

「山本とだれぢや？」

「常起さん」

「……用があれば這入れ」

と、三造は叫るやうに云ふ。三人は、默つて、辷るやうに這入つた。

「社長——御容體はいかがです？」

「うん、常起君か……わしや、だれかと思つた」

「どうですか、ちつとは、いゝ方ですか？」

「うん、まあ、あんまり變らんわい」

「いけませんね——熱はまだありますか？」

「……うん、なにしろ……」

と、から云つたが、すぐ苦しさうに、うん、うんと唸つた。

「なんにも、召しあがりませんのでね、それで、お醫が困るのですよ」

お君は、そばから、から口を添へた。

「食べものがいけないのは、いかんな」

と、常起は、心配さうな顏色をした。

「……それでな常起君、わしは、そのうちに、君と、ゆつくりと、あとくのことを、相談したいと思ふてゐるのぢやがな」

「はあ……」

と、常起も、返辭に困つた。

三造は、切れ〳〵にかう云つた。

「どうか、それより一日も早く治るやうにして下さい。それでないと……」

常起はその言葉の次ぎに、なにか云はふとしたが、默つてしまつた。

「わしは、もう治らんわい……」

三造は、絶望したやうに云ふ。

「そんな弱いお心では、みんなが困ります、まだ〳〵あなた、これから大にやつて戴かなければならんのですから……」

「いや〳〵、もうだめぢや……わしは、東京へ歸りたいのぢやが、だめぢやらうな、旅行は……？」

三造は、からまた云つた。三造は故郷の地は、朝鮮だと云つて暮つたことを、忘れてゐた。

「だめではないでせう……」

常起は、から答えながら、山本老人に、眼くばせをした。山本老人はすると、なんだか、云ひ出し憎さうにもぢ〳〵してゐたが、思ひ切つたと云ふやうに、

「お上、あの、ちよつと、申し上げることが、ございますので……」

と、おど〳〵して云つた。

「なんぢや？」

「……實は、あの、お令孃さまのことで……」

「……」

「あのお孃さまのことで……」

と、山本老人は、三造に聞えないのだと思つて繰返した。

「……お孃さまが、どうしたのぢや？一度云へばわかるわい」

と、三造は、獄に苛々して怒鳴つた。

京日文苑（投稿歡迎）

- 短歌　題「秋」尾上柴舟選
- 俳句　題「芋」[illegible]選
- 川柳　題「提灯」劍花坊選
- 締切　十月廿五日（各題共）
- 賞金　天一圓半、地一圓、人半圓
- 注意　一題一人五句、各題別紙　用紙葉書、雅號住所氏名明記、京城日報社「京日文苑」宛
- 其他　各地會報歡迎

短歌　尾上柴舟選

課題「朝」

◇ 佐山　邦彌（京城）

朝あらふ水に寫れる我が若き姿ゆ、しむ頃夏の朝

何となく嬉しき朝け常葉さす窓にいそ〳〵文の封切る

◇ 明野れいか（京城）

露をふくひなげし畑の朝風に破られぬべき思ひなちなくに

めざむればすなはち思ふひとゆゑにいのち細にと告げやらましを

◇ 信樂　如水（釜州）

いさゝかの畑なれどもわがつくる茄子もぐ朝の心たのしも

なみ〳〵と湯槽をあふれ湯は消し朝をひたりてものを思はず

◇ 長野　幸子（新都）

靜かなる朝のくりやに漬物をきざみてあれば湯のたぎりたり

朝の畑茄子をちぎりて陽にはゆる紫の露をなつかしみけり

◇ 澤村　正志（京城）

あさあけのポプラ涼しも颯々と葉ずれひゞきて風すみ渡る

◇ 三春　文子（京城）

しら〳〵と露おく夏の朝まだき花園に入りて緋ダリアを剪る

思ひつゝ幾日細にけむこの朝け蜩啼くきけば夏さりにけり

悲しき夢よべも亦見ぬかくて我が今日の一日も淋しからまし

川柳　井上劍花坊選

題「酒」

- ○ 旭町　餓太　櫻花嫁が隣へ酒を借りに行き
- ○ 楊州　大眼　口さきが光つて棚がきいて居る
- ○ 平北寧邊　燒杭　隣まで燒け徳を拔いた四斗樽
- ○ 支那　御好名　實傳獄上戸の耳にかしましい
- ○ 京城　悠蝶　エプロンの前に五色が美しい
- ○ 忠北大召院　大志路　醉はねいぞ〳〵と家が廻り
- ○ 馬山　雅伸子　こつぷ酒まだほどうな顏の色
- ○ 京城　筋右門　飲まぬ時は佛のやうな男なり
- ○ 會寧　茂林寺　八字街ひそかにくゞる細暖簾
- ○ 新羅州　萬秀　ひとりもの闇爐裏の傍で茶碗酒
- ○ 春川　凸吉　米を買ふ錢を見す〳〵酒にする
- ○ 仁川内里　露子　地下室の方で賣つてる禁酒法

俳句　木社編輯局選

題「百舌鳥」

- ○ 京城　丹山　ポプラ枝弓なりに百舌鳥鳴けり
- ○ 海南　湖山　巖を穀し日に入もなく鳴飛べり
- ○ 京城　灼天　百舌鳥鳴く山切り開く新街道
- ○ 咸陽　滑城　目を病みて氣いら〳〵し鵙の聲
- ○ 京城　紫空　百舌鳥のなく山懐や石を切る
- ○ 釜山　曉雪　鵙なくや先つ旭のあたる峰の松
- ○ 金泉　露月　豆柿に燃ゆる夕陽や百舌鳥の啼く
　　　日もすから百舌鳥囀るや苗木畑

新刊紹介

○ 昌城　部子　百舌鳥啼くや一筋白き谷の水

○ 京城　苔州　櫨の實のしたたか落ちる鵙の鳴く

○ 京城　水藍　百舌鳥鳴くや一ト雨毎に染る山

○ 京城　鵑堂　百舌鳥鳴くや蘿延千す村芝居

○ 高城　南江　錦目立つるに齒搾き音や鵙の聲

國民の日本史

▲國民の日本史＝（鎌倉時代前篇＝中島孤島氏著）本書は武士勃興の大勢より筆を起し。前九、後三の變亂を經て源平兩氏が京都の權門と結びつゝ地方豪族の間に其勢力を扶植するに努むるに反し中央政府の權威は日に力を失なひ人心は不安に陥り途に僧侶の勢力となり保安平治の亂に次いで源平の末路に至る迄著者獨得の燃犀の史眼。絢爛の筆に依り紙上に躍如たらしめてゐる（會員販布東京牛込區早稲田大學出版部）

▲快心健體治病の福音（片桐正雄氏著）本書は眞實の健康法を頗る明細親切に說述し現代の誤れる物質的一大通弊を矯正したもので生理。科學は言ふまでもなく各種の健康法を精神的に重きを置いて編輯されてあるから一讀快心。健體又は治病の爲に益すること多大である（二圓三十錢京都下京區祇園萬壽小路健齋修養會）

▲颱風＝前篇（朝日定風氏著）著者は大正七年の夏全國に渡つて米騷動のあつた時其主謀者と目され投獄の憂目にあひ爾來社會のどん底にあつて其の狀態を細密に觀察したる過去五年間の出來事を綴つたものである（七十錢東京府下代々木山谷統一勞働黨）

▲女性改造（十一月）黎明期の第一聲 厨川白村）結婚難と離婚流行の社會的研究（長谷川如是閑外三名）兒童の性教育に就いて（西山哲治外十二名）藝術か愛か（村松正俊外三名）其他必讀の記事を始め長篇短篇の創作等を載す（本號六十錢東京芝區愛宕下町一改造社）

物理療法

エッヂカーレント阿々やラヂオレーヤの種類に有らず京城日報社代理部に於て一般に施術す

電本六〇〇九構内廿四

適應症

△X線療法……るいれき、腫瘍、わきが、顏ね、肉腫、關節炎、骨膜炎肋膜炎、腹膜炎、神經痛、水虫、にきび、頑固な皮膚病等

△『KS式ヂアテルミー』『アラヂザチオン』其他の療法……神經痛リウマチス、脚氣、腦神經衰弱、生殖器神經衰弱、胃腸器病、食傷瘡病、睾丸炎、關節炎、遲小便、膀胱加答兒、子宮及附屬器諸病、其他慢性內臟病に効有るもの多し

△冷灼及エッフルビウム療法等……いぼ、あざ、ほくろ、そばかすの除去『禿頭病の毛生』頑固な皮膚病等

人造ダイヤの製法

普通の砂糖を焼いて得る炭を純粹の鐵と混じて電氣爐に容れ、攝氏四千度程に數分間熱すると鐵は溶けて液體となり、炭は其の液體中に溶解する。此の混合物を急に冷水中に投入すると外側は直ちに凝結して鐵の外殼が出來る。此が冷却して收縮するが爲に內部の溶けたる鐵け非常に強い壓力を受けるかく強壓力を受けながら冷却して凝結すると今まで液體の鐵の中に溶解して居つた炭素の一部は結晶をなして凝固する。其中に天然産のダイヤモンドと同樣の硬度を有し透明で八面體の結晶即ち人造ダイヤモンドが得られるのである。

互選俳句大會

- 日時　卅一日（天長節祝日）午後一時開始
- 會場　市內本町一丁目不老閣（三越裏通）
- 課題　當日席上發表
- 特選　嚴谷小波、武田鶯塘、松澤雪松
- 互選　賞品　天地人へ各選著肉筆短冊、當日出席者全部を以て選者とす。及短冊、鳴雪翁、小波氏自畫讃半折、雪世北陸南氏の半折並に短冊、其他大家肉筆の半折並に短冊、副賞京日記念メダル、其他寄贈品澤山
- 會費　南柯支社員金一圓三十錢、同好者金六十錢
- 附記　會費並に萬年筆（或は鉛筆）當日持參のこと

主催　南柯吟社京城支社
後援　京城日報社

過酸化水素應用……化學的美膚料

色白くなる

ハーター過酸化石鹸

入浴化粧用……品質第一

發賣元 東京室町 泰昌製藥株式會社
代理店 大阪道修町 武田長兵衛商店
各府化粧品店にあり

澤田『性』の研究叢書（第壹卷）
性學大家澤田順次郎先生著　四六判洋裝 帝國入美本

男女 性慾及性交の新研究

●性に悶ゆる青年男女よ！一讀解決の鍵を得よ

●性慾は人類の本能にして性交は人生の基礎、天の使命なり併せて人生の最大愉樂である、夫を完全にするには先づ性慾及性交の眞理を明かにするを要す

本書は著者が多年の研究を發表せしものにして、內容の充實說明の懇切なるそれにも其眞理を了解する事が出來る

●內容二部）●性慾と性交慾●性感とは何ぞ●生殖慾●性交の意義●性慾と性感●性慾異狀と其療法●女子の性感●結婚初夜の注意●場所●性交の方法●性交の年齡●性交と健康●性交に對する警戒と節制法其の他

代金八十錢●送料金廿二錢●東京麻布區富士見町六振替東京一五八番　正文社

男女若返り法　錄として附し性慾缺乏▲生殖器機能の老衰を自宅療法を細說す。正價金壹圓五拾錢希望者は實費切手内に新聞名を記入しハガキで注文略號（セコ）迄れと申込めば代金引換にても密送す

發賣創立明治二十八年
各時計卸商
貸金屬製作卸所
京城黃金町二丁目
喜多金光堂
電話一〇一五番　振替京城七〇八〇番

本林のキナエン丸
かぜねつ
おこり
ちん熱
マラリヤ熱の良劑
藥價 廿五錢 五十錢 壹圓
本舖 大阪四ツ橋 本林丁子堂
至ル處ノ藥店ニアリ

男女必讀の粹書
江戸時代人情本作家の元祖　爲永春水作
春色梅暦（繪入）

四六版四百三十二頁四十字詰十五行極彩色密畫入洋裝美本箱入
前金送料共一圓七十錢、金引換一圓九十錢但殘本二百部限りにて
絶版 艷やかな江戸時代の男女が濃春水は一代の傑作を出したる本は大膽な描寫せる物語の絶版珍本は世上有り觸れぬ子供の藏にあらず 秘藏あれ
東京四谷區本村町三 振替東京三〇三三 花山堂

値下宣傳賣出

- 學生向實用半靴 四圓三十錢
- 同 編上 四圓八十錢
- 同 ゴム底半靴 三圓五十錢
- 紳士用メル付半靴 六圓
- 同 保險附 ローダース半靴 五圓五十錢
- 同 イナダース上等 六圓十錢
- 同 ローム編上半靴 九圓
- 總皮裏ゴム編上半靴 均一

靴の世界 進呈

總本店 本郷眞砂町三七（春日町際）
倉持靴問屋
電話小石川三六振替東京三〇三元

賛化病院
京城明治町一丁目
電話二四四番
內科
小兒科
入院隨意
施療す 每日五名を限る
醫學博士 古城憲治

資本金五千萬圓
積立金參千參百五十萬圓
株式會社 第一銀行 京城支店
京城府南大門通二丁目九番地
電話（長）一〇一番、一六一番、二八六番、二八五番營業用
振替貯金京城一一番
頭取 佐々木勇之助
支配人 藤森忠一郎

（內科）（外科）岩田病院
（入院隨意）
附屬 沃度注射院
東京帝大沃度研究所附屬
正五位勳三等功四級 岩田末吉
京城長谷川町（電話一六二〇）

一番よくきく
アレ止は
クラブ美身クリーム
クラブ洗粉本店謹製の

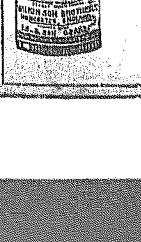
此のクラブ美身クリームは素顏の美を増し白粉の附を良くする品質第一のアレ、日ヤケ止にして畏くも

皇后宮職御用品

たるの光榮を辱うしつゝあり……

優良な技師に依て作られた優良な品

本場產
星印ソース
味も素氣もないソースに狎れ染み　ソースは肉塊皿に注ぐが如きもしまじき程に注ぐが普通と心得ゐる我々のむだと無作法とを矯め　同時に正しくソース使用の本領を覺らしむる…星印ソース！



ヒシ印ミルク
ボートワイン
精選 [illegible]
發賣元 祭原商店
大阪市東區[illegible]

[illegible]